

エコアクション21

春日部市環境活動レポート

(運用期間 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

令和5年10月5日
春日部市

目次

1. はじめに	1
2. 本環境レポートの位置づけ	1
3. 春日部市環境経営方針	2
4. 春日部市の概況	5
5. 実施体制	7
6. 認証・登録の対象範囲	9
7. 環境経営目標及び環境経営計画	15
8. 第2次春日部市地球温暖化対策実行計画事務事業編等における環境指標の達成状況（自らの環境負荷を低減させる取組）	18
9. 第2次春日部市環境基本計画における環境指標の達成状況（地域の環境の保全・創造に向けた取組）	21
10. 組織における主な重点推進事項	25
11. 環境配慮行動	28
12. 環境関連法規の遵守状況	37
13. 環境コミュニケーション	39
14. 教育・訓練の実施	40
15. 環境上の緊急事態への準備及び対応	40
16. 内部監査	40
17. 代表者による全体評価	41

1. はじめに

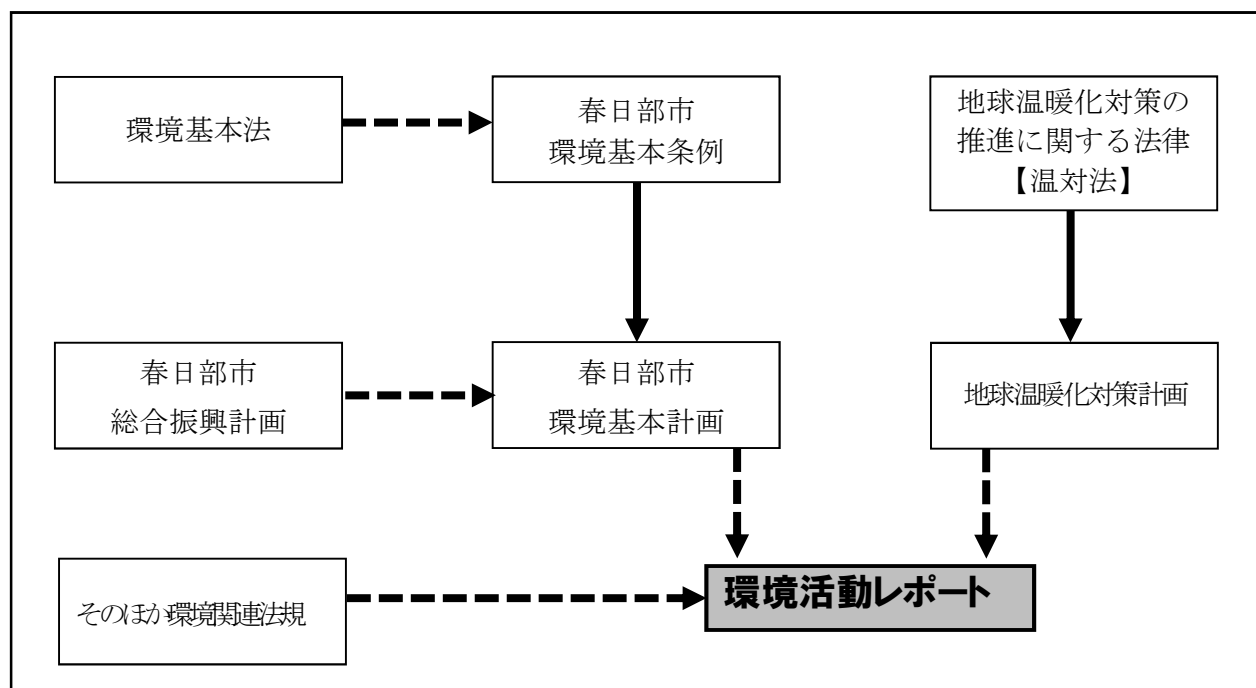
エコアクション21は、環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステムです。一般に「PDCAサイクル」と呼ばれるパフォーマンスを継続的に改善する手法を基礎として、組織や事業者等が環境への取り組みを自主的に行うための方法を定めています。エコアクション21は、あらゆる事業者が効果的、効率的、継続的に環境に取り組めるよう工夫されています。

2. 本環境レポートの位置づけ

春日部市は、第2次春日部市環境基本計画において「自然と人が共生し 未来につながる環境を みんなで育てまもるまち・春日部」を目指すべき環境像としています。

また、春日部市役所が取り組む地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を策定し、市の事務事業に関する温室効果ガスの排出の抑制等に取り組んできました。

これらの計画をより効果的、効率的に推進していくため、エコアクション21による環境経営システムを取り入れていきます。



図表1 環境活動レポートと関係法規の位置づけ

3. 春日部市環境経営方針

春日部市環境経営方針

1 基本理念

私たちのまち春日部は、日光街道の宿場町や大夙のまちとしての歴史的な伝統と江戸川や大落古利根川に代表される水と緑に恵まれた自然環境の中で、埼玉県東部地域における交通の要衝として、現在まで着実な発展を続けてきました。

しかしながら、今日のがが国の発展を支えてきた社会経済活動は、大量生産・大量消費・大量廃棄を招き、自然の恵みである資源を消費し、不用物を廃棄するものであり、私たちに便利さや物質的な豊かさをもたらしたものの、環境に大きな負荷を与えています。

また、自然の回復力を上回るほど大きくなった人間の活動は、地球温暖化やオゾン層の破壊、生態系の破壊、海洋汚染など、地球環境に重大かつ深刻な影響を及ぼし、人類の生存基盤を揺るがすまでに至っています。

これは、環境問題の多くが、市民一人ひとりの日常生活及び事業者の事業活動に起因していることを私たちは認識しなければなりません。

春日部市は、春日部市環境基本条例（平成19年条例第2号）及び第2次春日部市環境基本計画（以下「基本計画」という。）に定める基本理念並びに春日部市環境都市宣言にのっとり、環境の保全及び創造を推進するものとし、目指すべき環境像である「自然と人とが共生し 未来につなぐ環境を みんなで育てまもるまち・春日部」を目指します。

2 基本方針

目指すべき環境像を実現するために、次に掲げる基本計画に定める基本目標を市民・事業者・市が協働して推進します。

- (1) 基本目標1 生活環境
快適で、澄んだ空気・きれいな水、安全なまちの実現
- (2) 基本目標2 自然環境
住みやすい、豊かな自然・多様な生物、共生できるまちの実現
- (3) 基本目標3 循環環境
考えよう、ごみの減量・リサイクル、持続可能なまちの実現
- (4) 基本目標4 地球環境
便利さよりも、無駄をなくしたエコライフ、低炭素なまちの実現
- (5) 基本目標+1 環境意識、環境教育、モラル・マナー
市民・事業者・市が、環境を共に考え自ら行動するまちの実現

3 基本施策及び取組項目

春日部市は、基本目標を具現化するため、基本施策及び取組項目として次のことに取り組みます。

- (1) 基本目標1に関する基本施策
 - (ア) 地域環境の保全
 - 取組項目① 良好な地域環境の保全と公害防止策の推進
 - 取組項目② 地域環境の監視
 - (イ) 化学物質の監視
 - 取組項目① 化学物質による環境リスクへの対応

- 取組項目② 化学物質の情報共有・相互理解の推進
- 取組項目③ 化学物質等の監視
- 取組項目④ 石綿対策の推進
- (2) 基本目標2に関する基本施策
 - (ア) 身近な自然環境の保全
 - 取組項目① 緑地と水辺環境の保全
 - 取組項目② 歴史・文化・景観が調和する自然の保全と継承
 - 取組項目③ 良好な景観の形成
 - (イ) 自然の活用の推進
 - 取組項目① 開発等と自然との関係調整
 - 取組項目② 農地の維持・保全、都市農業の活性化
 - (ウ) 生物多様性の保全
 - 取組項目① 生物多様性の保全の取組
- (3) 基本目標3に関する基本施策
 - (ア) ごみの減量化・持続可能な資源利用の推進
 - 取組項目① ごみの発生の抑制
 - 取組項目② 再資源化の推進
 - 取組項目③ 水の循環利用の推進
 - (イ) 不法投棄の防止・環境美化活動の推進
 - 取組項目① 不法投棄防止の推進
 - 取組項目② 環境美化活動の推進
 - 取組項目③ 路上喫煙防止の推進
 - (ウ) ごみの適正処理の推進
 - 取組項目① 適正処理の確保
 - 取組項目② 災害廃棄物の適正処理
- (4) 基本目標4に関する基本施策
 - (ア) エネルギーの管理と高効率設備の導入による省エネルギーの推進
 - 取組項目① 省エネルギーの推進
 - 取組項目② 都市整備等における低炭素化
 - 取組項目③ 環境配慮商品等の購入の促進
 - (イ) 再生可能エネルギー等の導入推進
 - 取組項目① 再生可能エネルギー等の導入推進
 - 取組項目② 市有施設における再生可能エネルギー設備等の導入推進
 - (ウ) 地球温暖化適応策
 - 取組項目① 異常気象に備えたまちづくり
 - 取組項目② 気候変動への対応に関する情報提供
 - 取組項目③ 気候変動に適応した農作物への転換支援
- (5) 基本目標+1に関する基本施策
 - (ア) 環境意識
 - 取組項目① 環境にやさしいライフスタイルの推進
 - (イ) 環境教育
 - 取組項目① 人材の育成

4 その他

- (1) 春日部市は、基本施策及び取組項目の進行管理についてP D C Aサイクルを基本とし、環境経営の継続的改善を行います。
- (2) 春日部市は、環境に関する法令又は条例若しくは規則その他の規程を遵守します。
- (3) 春日部市は、環境への取組を環境経営レポートとして取りまとめ、全職員に周知するとともに、広く一般に公表します。

令和4年2月8日

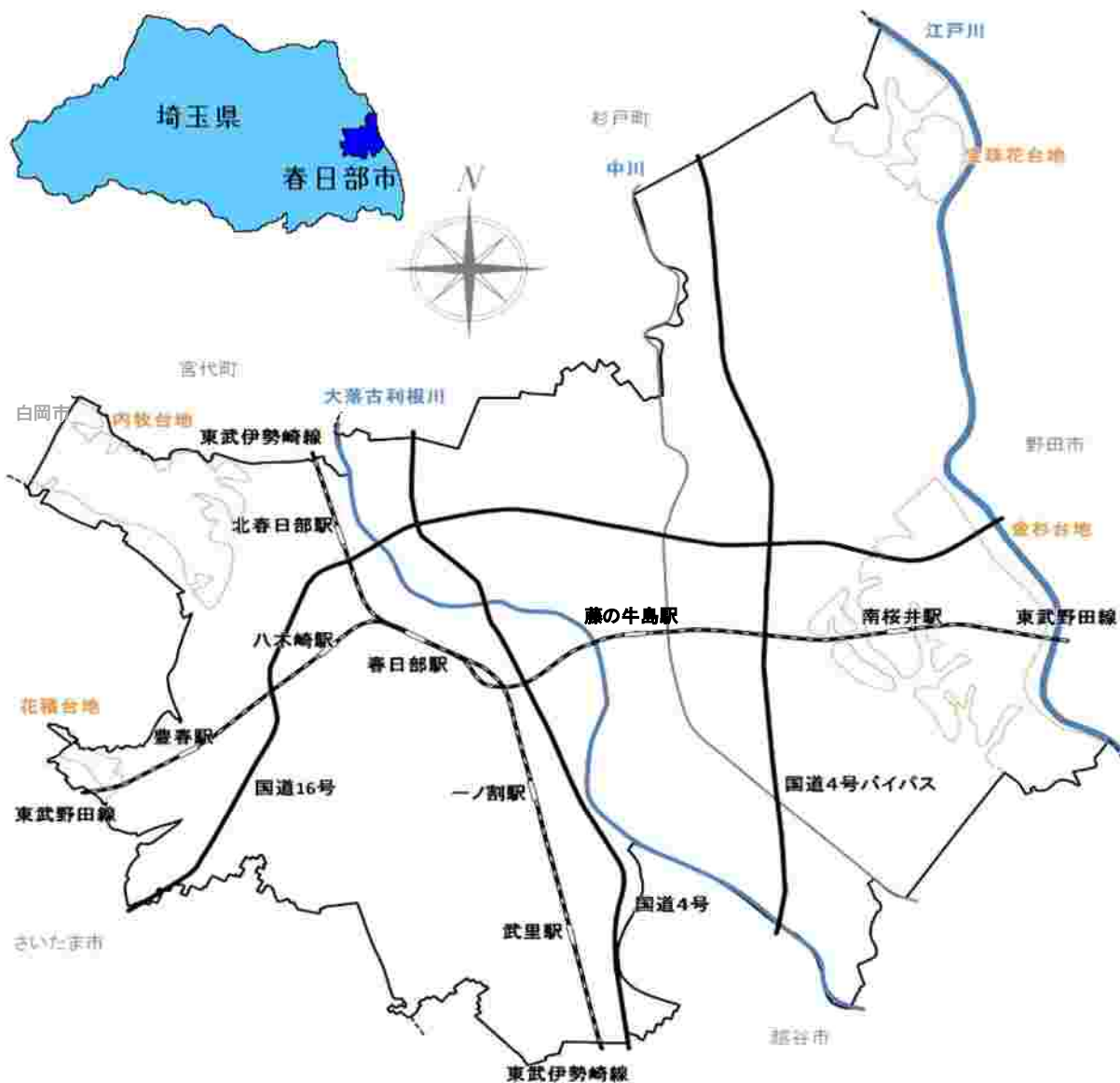
春日部市長



4. 春日部市の概況

春日部市は、関東平野のほぼ中央、埼玉県の一部に位置し、南北 11.9 km、東西 11.3 km、面積 66.00 km² の市域を有しています。都心からは 35km 圏内にあり、北は宮代町、杉戸町、南は越谷市、松伏町、西はさいたま市岩槻区、白岡市、東は江戸川を挟んで千葉県野田市と接しています。

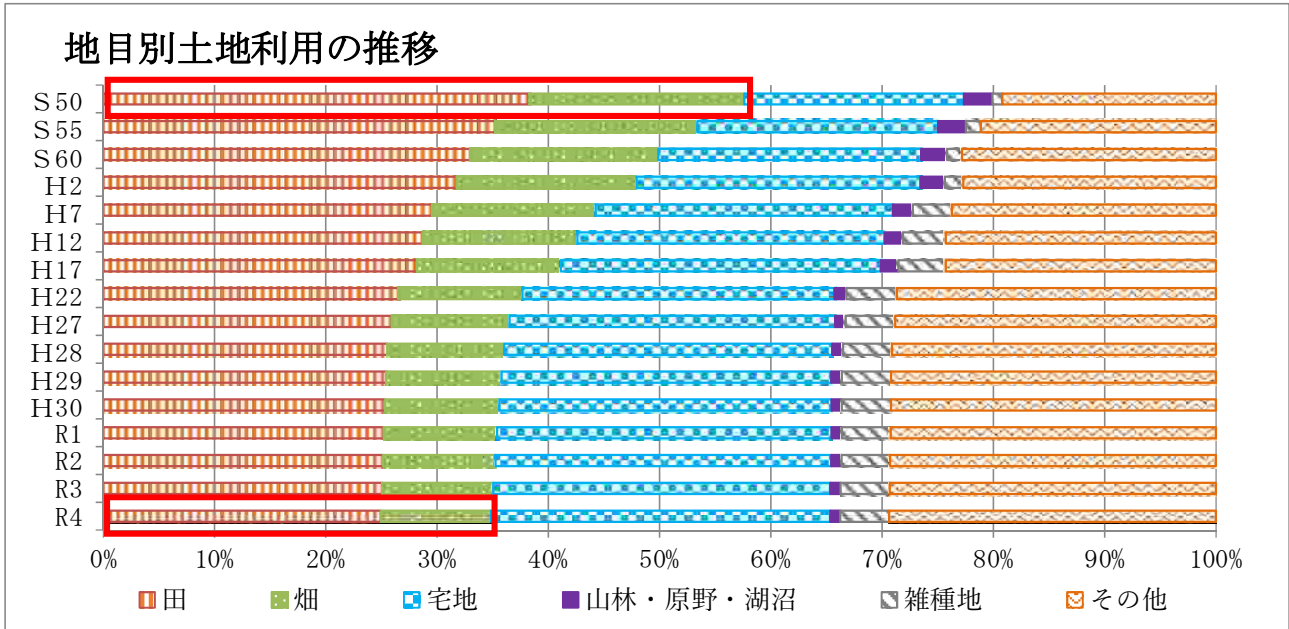
地形は、ほぼ平坦で河川によって運ばれてきた砂や泥により形成された軟弱な地盤の沖積層上にあり、中川低地と言われる地域に属しています。市の東側には宝珠花台地、金杉台地が、西側には内牧台地、花積台地があり、縄文時代の人々が生活していた痕跡が確認されています。



図表2 春日部市の地勢

(1) 土地利用

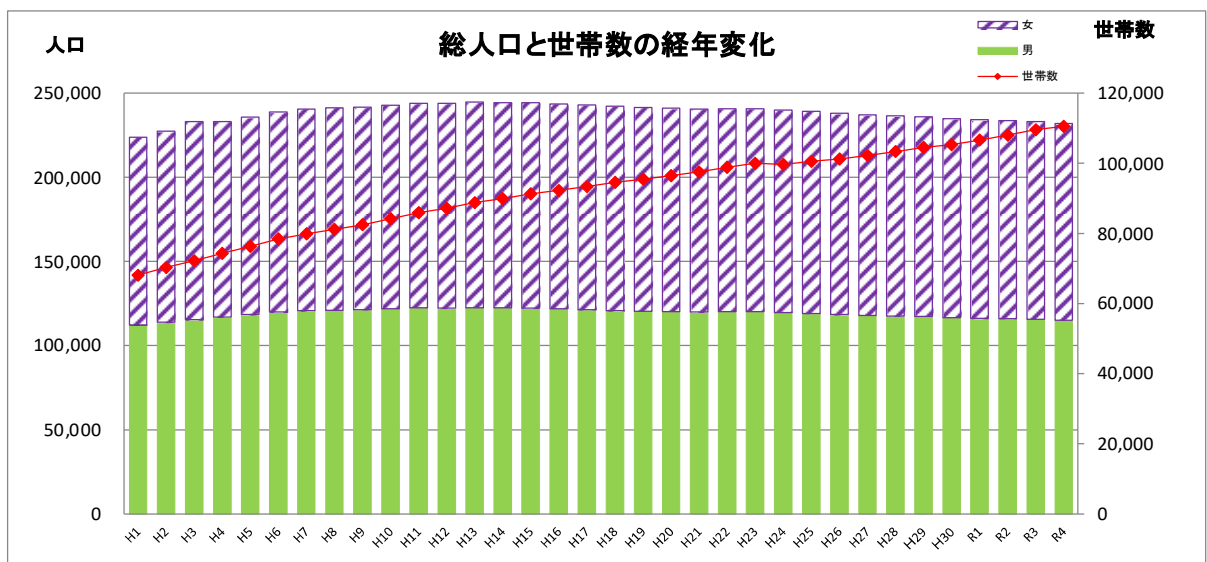
かつて市内には、大落古利根川、中川、江戸川などにより運ばれ堆積した肥沃な土壌を生かした水田が全体的に広がっていました。しかし、市内の8駅周辺を中心に急激な市街化が進んだことにより、昭和50年には60%近くあった田畑は、2019年（令和元年）度には40%を下回るまで減少しています。また、山林・原野・湖沼の占める面積は、もともと非常に小さなものでしたが、この40年で半分以下となり、小規模な平地林、社寺林、屋敷林などと公園などの人工的な林地が見られるに過ぎなくなっています。



図表3 地目別土地利用の推移

(2) 人口

2022年（令和4年）10月1日時点での人口は、232,007人（男114,989人、女117,018人）、世帯数は110,574世帯でした。春日部市は都心から35km圏内にあり、交通の便も良いことから、首都圏のベッドタウンとして発展しました。現在では、人口は減少傾向にあります。世帯数は増加を続けており、核家族化、単身世帯化が進んでいると考えられます。



図表4 総人口と世帯数の経年変化

(3) 自治体名及び代表者名

春日部市

代表者 市長 いわやかずひろ 岩谷一弘

所在地

〒344-8577 春日部市中央六丁目2番地

担当課

春日部市環境政策課

TEL：048-736-1111（内線 7714～7717）

FAX：048-733-3826

メールアドレス：kankyo@city.kasukabe.lg.jp

事業活動の内容

埼玉県春日部市役所内における行政事務

事業の規模

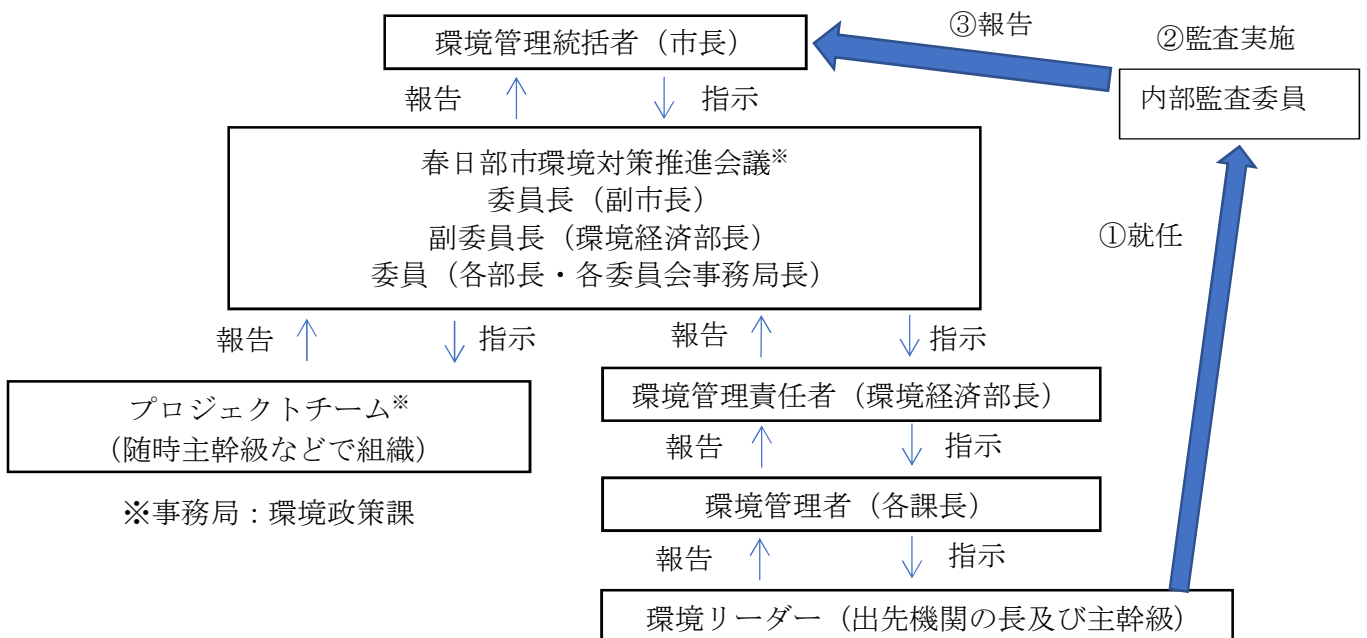
令和4年度一般会計当初予算 808億3,000万円

職員数 1,873人（令和5年4月1日時点）

レポート発行日：2023年10月5日

本レポートにおける運用期間は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までです。
ただし、集計の都合上、運用期間と整合していない場合があります。

5. 実施体制



図表5 実施体制（令和5年4月1日時点）

図表6 役職名と主な役割

役職名	担う者	主な役割
環境管理統括者	市長	計画*及び方策の決定等を行います。
環境管理責任者	環境経済部長	計画の進捗状況の把握、点検及び評価結果の取りまとめを行うため、環境管理者への指示・監督を行います。また、環境管理者を通じて環境リーダーに行動指針の推進を指示します。
環境管理者	各課長	課内（出先機関を含む。）の計画の進捗状況の把握、点検及び評価結果を取りまとめ、環境管理責任者に報告を行います。また、環境リーダーに行動指針の推進を指示します。
環境リーダー	出先機関の長及び主幹級	課内または出先機関内における行動指針を推進します。
内部監査員	出先機関の長及び主幹級	エコアクション21の要求事項及び市長が定めるルール等に適合しているかなどを監督し、検査します。

※第2次春日部市環境基本計画、第2次春日部市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）、エコアクション21に係る計画等、環境分野における計画を指します。

図表7 計画推進の組織

組織名	構成員	主な役割
春日部市環境対策推進会議	副市長 各部長	計画の進捗状況の管理及び計画の調査審議を行います。
プロジェクトチーム	随時 主幹級など	春日部市環境対策推進会議の指示により専門的な事項（プロジェクト）について、検討・立案・推進します。

6. 認証・登録の対象範囲

本市におけるエコアクション21の認証・登録に係る施設、対象組織は、以下のとおりです。

図表8 取組の対象となる施設一覧

対象施設名	対象組織（課名）
・本庁舎	・秘書課・政策企画課・シティセールス広報課・行政デジタル改革課・情報システム課・収納管理課・総務課・人権共生課・市民課・福祉総務課・生活支援課・障がい者支援課・こども育成課・こども相談課・こども支援課・保育課・介護保険課・国民健康保険課・道路管理課・道路建設課・河川課・都市計画課・まちづくり推進課・鉄道高架推進課・開発調整課・建築課・住宅政策課・会計課・議会事務局・選挙管理委員会事務局・監査委員事務局（公平委員会含む）
・別館	・危機管理防災課・財政課・管財課・市民税課・資産税課・市政情報課・くらしの安全課・市民参加推進課
・第二別館	・高齢者支援課・健康課・介護保険課（地域支援）
・第三別館	・公共施設事業調整課・人事課・契約課・環境政策課・リサイクル衛生課・商工振興課・観光振興課・農業振興課・農業委員会事務局
・教育センター	・教育総務課・教育施設課・学務課・指導課・学校給食課・社会教育課・文化財課・スポーツ推進課
・庄和総合支所	・庄和総合支所・公園緑地課
・武里出張所	・市民課
・薬師沼憩いの家・大池憩いの家・高齢者福祉センター幸楽荘	・高齢者支援課
・ふじ学園	・障がい者支援課
・第3保育所・第4保育所・第5保育所・第6保育所・第7保育所・第8保育所・庄和第2保育所	・保育課
・健康福祉センター・保健センター（ふれあいキューブ内）	・健康課
・環境センター	・廃棄物対策課
・情報発信館	・観光振興課
・西金野井第二土地区画整理事務所	・まちづくり推進課
・看護専門学校	・看護専門学校
・市民文化会館	・教育総務課
・学校給食センター	・学校給食課
・教育相談センター	・指導課
・視聴覚センター	・社会教育課

・郷土資料館	・文化財課
対象施設名	対象組織（課名）
・中央公民館・粕壁南公民館・内牧地区公民館・内牧南公民館・豊春地区公民館・豊春第二公民館・武里地区公民館・武里東公民館・幸松地区公民館・幸松第二公民館・豊野地区公民館・藤塚公民館・武里南地区公民館・武里大枝公民館・庄和地区公民館・庄和南公民館・武里市民センター	・中央公民館

対象外とした施設・組織

企業会計（上下水道部、市立医療センター）、消防、市立小中学校等、指定管理者制度導入施設

なお、対象組織（課名）は令和5年4月1日現在の名称で記載しております。

図表9 対象として拡大する可能性のある施設

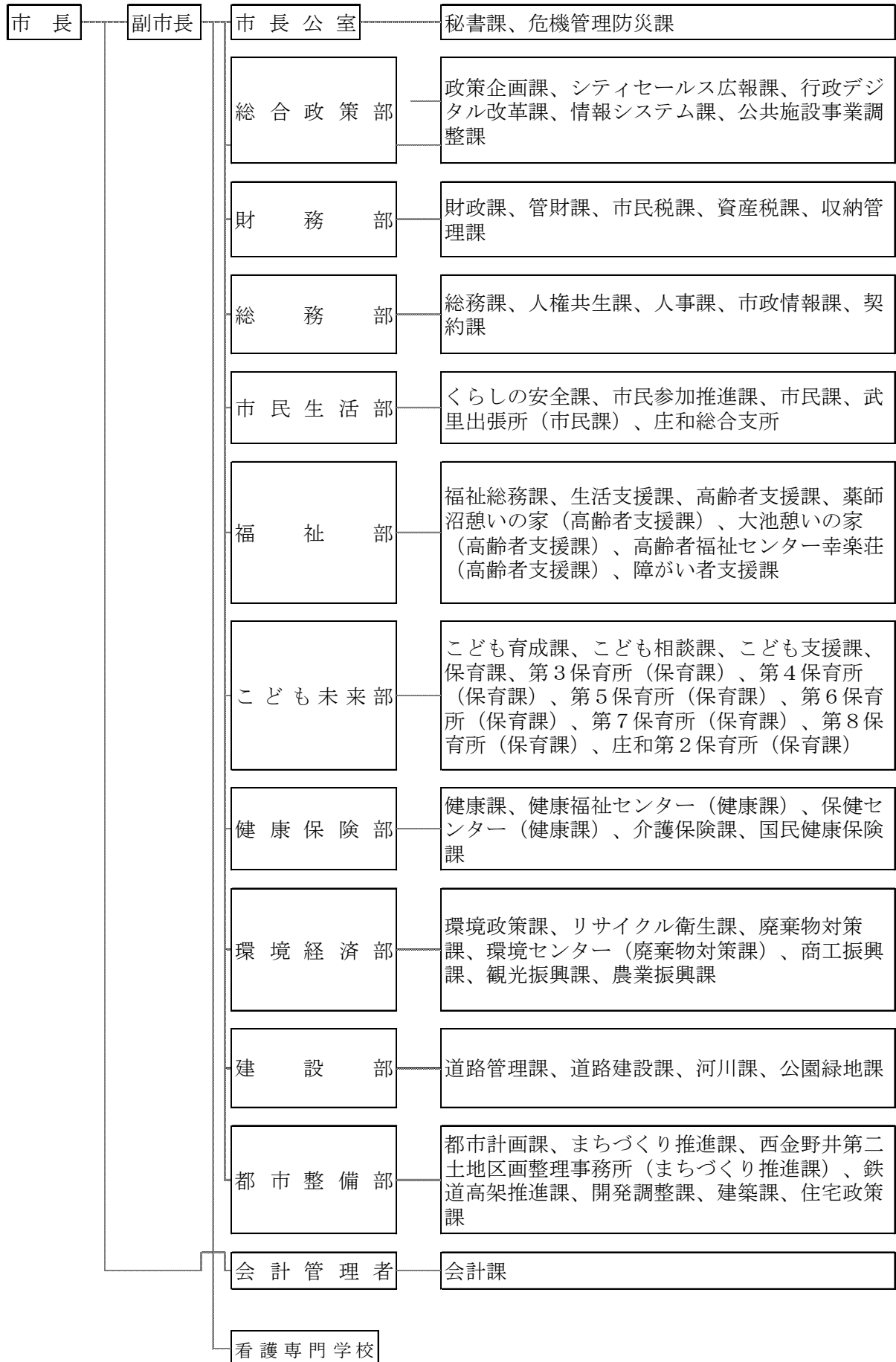
区分	対象施設名	対象組織（課名又は関係が深い部署）	区分	対象施設名	対象組織（課名又は関係が深い部署）
企業会計	・上下水道部事務所	・経営総務課・施設管理課・工務課	市内小中学校	・正善小学校	・指導課
	・春日部営業所	・経営総務課		・立野小学校	・指導課
	・市立医療センター	・総務課（病院）・経営財務課・管理課・医事課		・宮川小学校	・指導課
	（・庄和総合支所）	・経営総務課		・藤塚小学校	・指導課
消防	・消防本部	・総務課（消防）・予防課・警防課・春日部消防署		・小湊小学校	・指導課
	・東分署	・春日部消防署		・武里南小学校	・指導課
	・武里分署	・春日部消防署		・武里西小学校	・指導課
	・浜川戸分署	・春日部消防署		・南桜井小学校	・指導課
	・豊野分署	・春日部消防署		・川辺小学校	・指導課
	・幸松分署	・春日部消防署		・桜川小学校	・指導課
	・備後分署	・春日部消防署		・中野小学校	・指導課
	・庄和消防署	・庄和消防署		・春日部中学校	・指導課
市内小中学校	・粕壁小学校	・指導課		・東中学校	・指導課
	・内牧小学校	・指導課		・武里中学校	・指導課
	・豊春小学校	・指導課		・大沼中学校	・指導課
	・武里小学校	・指導課		・豊野中学校	・指導課
	・幸松小学校	・指導課		・緑中学校	・指導課
	・豊野小学校	・指導課		・大增中学校	・指導課
	・備後小学校	・指導課		・春日部南中学校	・指導課
	・八木崎小学校	・指導課		・葛飾中学校	・指導課
	・牛島小学校	・指導課		・飯沼中学校	・指導課
	・緑小学校	・指導課		・江戸川小中学校	・指導課
	・上沖小学校	・指導課			

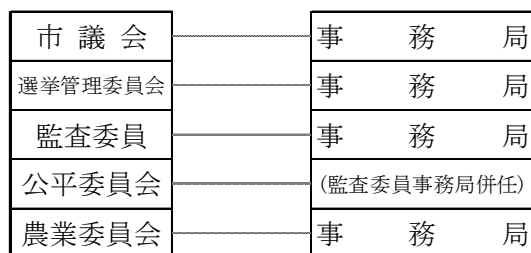
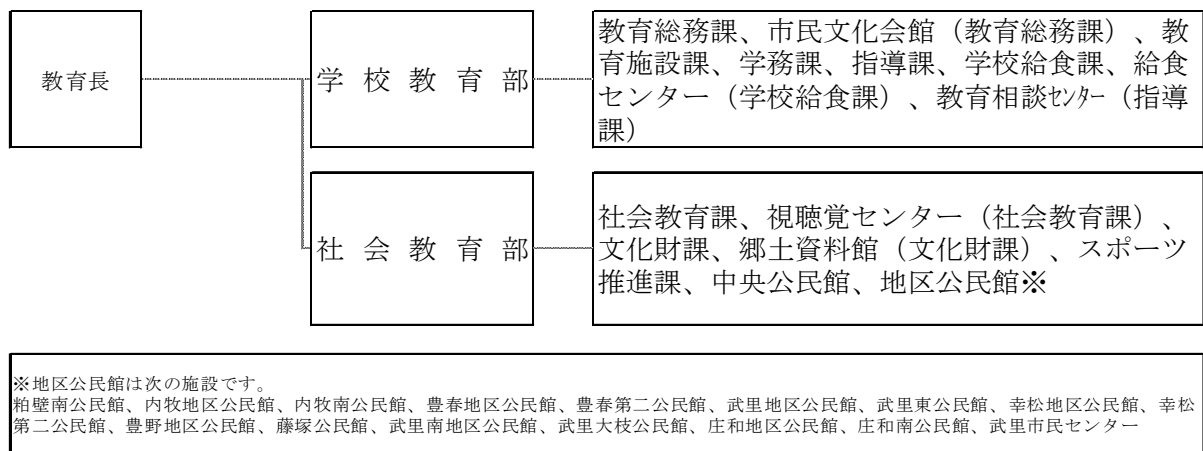
区分	対象施設名	対象組織（課名 又は関係が深い 部署）	対象施設名	対象組織（課名 又は関係が深い 部署）
指定 管理者 制度 導入 施設	・道の駅「庄和」	・観光振興課	・豊春放課後児童クラブ	・こども育成課
	・総合体育館「ウィ ング・ハット」	・スポーツ推進 課	・武里放課後児童クラブ	・こども育成課
	・市民体育館	・スポーツ推進 課	・幸松放課後児童クラブ	・こども育成課
	・庄和体育館	・スポーツ推進 課	・豊野放課後児童クラブ	・こども育成課
	・市民武道館	・スポーツ推進 課	・備後放課後児童クラブ	・こども育成課
	・大沼運動公園グラ ウンド	・スポーツ推進 課	・八木崎放課後児童クラブ	・こども育成課
	・南栄町グラウンド	・スポーツ推進 課	・牛島放課後児童クラブ	・こども育成課
	・谷原グラウンド	・スポーツ推進 課	・緑放課後児童クラブ	・こども育成課
	・牛島野球場	・スポーツ推進 課	・上沖放課後児童クラブ	・こども育成課
	・庄和球場	・スポーツ推進 課	・正善放課後児童クラブ	・こども育成課
	・立沼テニス場	・スポーツ推進 課	・立野放課後児童クラブ	・こども育成課
	・庄和テニス場	・スポーツ推進 課	・宮川放課後児童クラブ	・こども育成課
	・大沼公園	・公園緑地課	・藤塚放課後児童クラブ	・こども育成課
	・中央町第3公園	・公園緑地課	・小淵放課後児童クラブ	・こども育成課
	・南栄町第1近隣公園	・公園緑地課	・武里南放課後児童クラブ	・こども育成課
	・谷原第1公園	・公園緑地課	・武里西放課後児童クラブ	・こども育成課
	・牛島公園	・公園緑地課	・南桜井放課後児童クラブ	・こども育成課
	・庄和総合公園	・公園緑地課	・川辺放課後児童クラブ	・こども育成課
	・内牧公園	・公園緑地課	・桜川放課後児童クラブ	・こども育成課
	・庄和子育て支援セ ンター	・保育課	・中野放課後児童クラブ	・こども育成課
	・武里南保育所	・保育課	・第9保育所	・保育課
	・庄和第1保育所	・保育課	・春日部子育て支援センタ ー	・保育課
	・粕壁放課後児童ク ラブ	・こども育成課	・春日部第2児童センター 「グーかすかべ」	・こども育成課
・内牧放課後児童ク ラブ	・こども育成課	・春日部第1児童センター 「エンゼル・ドーム」	・こども育成課	

区分	対象施設名	対象組織（課名又は関係が深い部署）	対象施設名	対象組織（課名又は関係が深い部署）
指定管理者制度導入施設	・庄和児童センター「スマイルしょうわ」（庄和総合支所）	・こども育成課	・ひまわり園	・障がい者支援課
	・中央図書館	・社会教育課	・あおぞら	・障がい者支援課
	・武里図書館	・社会教育課	・リサイクルショップ	・障がい者支援課
	・庄和図書館（庄和総合支所）	・社会教育課	・ふじ支援センター	・障がい者支援課
	・ふじ学園、八木崎保育所「パレットやぎさき」	・障がい者支援課 ・保育課	・市民活動センター「ぽぽら春日部」	・市民参加推進課
	・ゆりのき支援センター	・障がい者支援課	・男女共同参画推進センター	・人権共生課

取組対象となる組織図

令和5年4月1日時点





図表 10 組織図

7. 環境経営目標及び環境経営計画

環境経営目標と環境経営計画は、「第2次春日部市環境基本計画」「第2次春日部市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」と連動して設定しています。

「第2次春日部市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」の目標値として、エネルギー一起源の温室効果ガスを2018年度（平成30年度）から2027年度（令和9年度）までの10年間に2013年度（平成25年度）比で41.7%削減すると定めています。

このことから、令和元年度（計画開始から2年目）から令和9年度各年度の目標値は図表11のとおりです。

図表11 各年における温室効果ガス排出量等の目標値※

項目	基準年 (2013 年度)	令和 元年 度	令和 2年 度	令和 3年 度	令和 4年 度	令和 5年 度	令和 6年 度	令和 7年 度	令和 8年 度	令和 9年 度
温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	4,981	4,566	4,358	4,150	3,942	3,735	3,527	3,319	3,112	2,904
電気使用量 (千kWh)	6,767	6,203	5,920	5,638	5,356	5,074	4,792	4,510	4,227	3,945
灯油使用量 (kL)	202	185	177	168	160	151	143	135	126	118
都市ガス使用量 (千m ³)	251	230	220	209	199	188	178	167	157	146
自動車等燃料 (kL)	74	68	65	62	59	55	52	49	46	43

※令和9年度最終目標値を各年で均等割りして算出したものです。基準年に対し、4.17%ずつ削減していくことが目標となります。（令和4年度は計画開始から5年目であるため、基準年に対して20.85%削減することとなります。）

紙使用量については、令和元年度から令和4年度について図表12のとおり目標値を定め

ました。春日部市では「第3次春日部市行政改革大綱」が定められており、令和4年度までに電子決裁実施率を毎年2%上昇させることを目標としていることから、紙使用量の削減については令和4年度までに平成30年度実績の基準に対して8%削減させることを目標としました。なお、紙使用量に関しては集計方法を見直したため、過去の数値と異なります。

図表12 各年における紙使用量の目標値*

項目	平成30年度実績 【参考】	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	令和3年度 目標値	令和4年度 目標値
紙使用量 (枚数)	40,310,500	39,504,290	38,698,080	37,891,870	37,085,660

※平成30年度に対し、毎年2%ずつ削減していくことを目標としました。

一般廃棄物量については、令和元年度から令和9年度について図表13のとおり目標値を定めました。春日部市では現状（平成28年度）から令和9年度までに事業系ごみ年間排出量を約55%程度削減することを目標としています。一般廃棄物量の削減については令和9年度までに平成30年度実績の基準に対して55%削減させることを目標としました。

図表13 各年における一般廃棄物量の目標値*

項目	平成30年度 実績【基準 年】	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
一般廃棄物量 (kg)	282,133	264,923	247,713	230,503	213,293
項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
一般廃棄物量 (kg)	196,082	178,872	161,662	144,452	127,242

※最終目標値を各年で均等割りして算出したものです。基準年に対し、6.1%ずつ削減していくことが目標となります。

水使用量については、第1次春日部市地球温暖化対策実行計画（平成22年度～平成29年度）において7年間で5%削減を目標としていました。そこで今回は令和元年度から令和4年度までに平成30年度実績の基準に対して4%削減することを目標としました。

図表14 各年における水使用量の目標値*

項目	平成30年度実績 【参考】	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	令和3年度 目標値	令和4年度 目標値
水使用量 (m ³)	85,430	84,576	83,721	82,867	82,013

※平成30年度に対し、毎年1%ずつ削減していくことを目標としました。

なお、化学物質使用量については、1年間の必要量が固定化され、削減する余地がないことから、削減目標値は設定しないこととなりましたが使用量は把握しています。

環境経営計画は、「第2次春日部市環境基本計画」「第2次春日部市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を参考に、次のとおり設定しています。

温室効果ガスの削減	
	接客時など必要がある場合を除き、昼休みは照明を消す。
	エレベーターはできるだけ使用せずに階段を使用する。（2アップ3ダウンの励行。）
	エコドライブを実施する。
紙の削減	
	ファイリングシステムを活用し、資料はできるだけ一元化し、課内・担当内・個人で複数保有しない。
	可能な限り両面コピーやミスコピーの裏面利用をする。
	文書の電子化を推進する。
廃棄物の削減	
	市の施設から出るごみは、市の分別方法に従って分別を徹底し、適正に処理する。
	3M運動（マイバッグ・マイはし・マイボトル）を推進する。
	備品などは安易に新規購入せず、可能な限り長く使う。
水使用量の削減	
	節水型機器を導入する。
	水道水を使うときは、節水に心がける。
	公用車の洗車時には、ため洗いを心がける。
化学物質の適正な使用	
	化学物質の使用量、保管量の適切な把握、管理
グリーン購入の推進	
	グリーン購入法適合商品等の購入の徹底等を図る。
	OA機器導入の際には、国際エネルギースタープログラムに適合した商品を導入する。

8. 第2次春日部市地球温暖化対策実行計画事務事業編等における環境指標の達成状況(自らの環境負荷を低減させる取組)

市の事務事業に伴う温室効果ガスの排出量の削減や資源の削減に努めることや、グリーン購入法の推進を図ることで、環境に配慮した製品やサービスの普及促進に資することにもつながります。対象期間における温室効果ガス排出量及びエネルギー使用量を図表16に示します。

図表16 温室効果ガス排出量とエネルギー別の使用量

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度 目標値	達成	前年比
温室効果ガス 排出量 (t- CO ₂)	3,795	4,173	3,295	3,942	○	21.0% 削減
電気使用量 (千kWh)	5,979	6,307	6,452	5,356	×	2.3% 増加
電気排出係数 (tCO ₂ /kWh)	0.000421	0.000445	0.000283	0.000525	—	—
灯油使用量 (kL)	192	207	226	160	×	9.2% 増加
都市ガス使用 量(千m ³)	275	304	320	199	×	5.3% 増加
自動車等燃料* ¹ (kL)	50	48	46	59	○	4.2% 削減

※1 自動車等燃料は、ガソリン・軽油使用量の合算

温室効果ガス排出量は、目標値を達成することができました。こちらは令和4年度より市の一部施設において再生可能エネルギー100%電力を取り入れたことによるものです。

各エネルギー使用量について、自動車等燃料は目標値を達成することができ、その他は未達成となりました。新型コロナウイルス感染症の影響により、換気を実施しながら空調等を使用したこと等により使用量が増加したと考えられます。自動車等燃料については、公用車における次世代自動車導入の基本方針を策定し、電気自動車をはじめとする次世代自動車への転換を進めています。

多くの項目で前年と比べて増加したのは、新型コロナウイルス感染症への対応の変化が考えられます。例えば、施設を休館せず感染予防策を講じながら開館したこと等が挙げられます。

温室効果ガス排出量を算出する際に使用した排出係数を図表17に示します。

図表17 燃料及び電気における排出係数

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位
	排出係数	排出係数	排出係数	
ガソリン	0.00232166	0.00232166	0.00232166	tCO ₂ /L
灯油	0.00248948	0.00248948	0.00248948	tCO ₂ /L
軽油	0.00258496	0.00258496	0.00258496	tCO ₂ /L
A重油	0.00270963	0.00270963	0.00270963	tCO ₂ /L
液化石油ガス (LPG)	0.00588983	0.00588983	0.00588983	tCO ₂ /m ³
都市ガス	0.00223403	0.00223403	0.00223403	tCO ₂ /m ³
東京電力エナジーパートナー (株)	0.000457	0.000447	0.000457	tCO ₂ /kWh
(株) F-Power	0.000448	0.000448	—	tCO ₂ /kWh
(株) エネット	0.000391	0.000373	0.000405	tCO ₂ /kWh
丸紅 (株)	0.000308	0.000379	0.000464	tCO ₂ /kWh
パネイル (株)	0.000501	—	—	tCO ₂ /kWh
(株) ホープ	0.000524	0.000473	—	tCO ₂ /kWh
ゼロワットパワー (株)	—	—	0.000025	tCO ₂ /kWh

対象期間における紙使用量、一般廃棄物量、水使用量、化学物質使用量を図表18に示します。

図表18 市の事務事業における資源使用量等

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度 目標値	達成 状況	前年比
紙使用 量(枚 数)	38,330,000	40,405,000	37,217,500	37,085,660	×	7.9%削減
一般廃 棄物量 (kg)	297,264	294,246	303,862	213,293	×	3.3%増加
水使用 量(m ³)	61,868	68,016	78,959	82,013	○	16.1%増 加
化学物 質使用 量(kg)	4,659	4,695	4,690	—	—	—

紙使用量については、兼ねてから推進していた電子決裁率の増加、ペーパーレス会議等の広がりにより前年比では7.9%減少しましたが、目標値には届いておりません。今後も継続した推進活動が必要な状況です。

一般廃棄物量、水使用量については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と社会経済活動を両立した結果、両者とも前年比では増加となりましたが、水使用量に関しては目標値を達成することができました。

図表 19 グリーン購入実績

分野・品目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標値	達成状況
紙類	80%	83%	72%	95%	×
文具類	64%	60%	51%	70%	×
印刷	75%	81%	59%	70%	×
複合機、プリンター	100%	100%	100%	90%	○
デジタル印刷機	—	—	—	100%	—
パソコン	100%	100%	100%	100%	○
自動車	100%	—	—	100%	—
消火器	48%	84%	66%	100%	×
災害備蓄用品（3品目）	100%	100%	100%	100%	○
機密文書処理	100%	100%	100%	100%	○

紙類については、コピー用紙が98%の調達率であったものの、他の紙類において不適合が一定程度あったため、目標値に達していない状況でした。

文具類については、品目が多いことから、達成状況にばらつきが生じており、不明となったものを不適合として計上しているため調達率が目標を下回りました。

印刷についても、目標値を下回る結果となりました。適合する仕様書の例に沿う形で各課に適切に要件を見直していただく必要があります。

また、上記以外の分野・品目は購入課が一部に限られるため、一部の調達品を除き、当該課において、十分な精査をしていただいたことにより、目標値を達成できたと考えられます。

9. 第2次春日部市環境基本計画における環境指標の達成状況（地域の環境の保全・創造に向けた取組）

基本目標ごとに春日部市が掲げた環境像の実現に向けて設定した数値目標の達成状況です。これは「地域の環境の保全・創造に向けた取組」に該当し、令和9年度における目標値を定めています。

図表 20 基本目標 1 快適で、澄んだ空気・きれいな水、安全なまちの実現

基本施策	環境指標	現状値			目標値 2027年度 (令和9年度)
		2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	
(1) 地域環境の 保全	二酸化硫黄 (SO ₂)				
	1時間値の最高値	0.006ppm	0.005ppm	0.025ppm	0.1ppm以下
	日平均値の最高値	0.002ppm	0.002ppm	0.003ppm	0.04ppm以下
	日平均値の2%除外値	0.002ppm	0.002ppm	0.002ppm	0.04ppm以下
	二酸化窒素 (NO ₂) 日平均値の年間98%値	0.028ppm	0.027ppm	0.026ppm	0.06ppm以下
	光化学オキシダント 昼間の1時間値が 0.06ppmを超えた時間数	359時間	374時間	227時間	0時間
	浮遊粒子状物質 (SPM)				
	1時間値の最高値	0.088 mg/m ³	0.087 mg/m ³	0.081 mg/m ³	0.20mg/m ³ 以下
	日平均値の最高値	0.062 mg/m ³	0.046 mg/m ³	0.040 mg/m ³	0.10mg/m ³ 以下
	日平均値の2%除外値	0.044 mg/m ³	0.028 mg/m ³	0.031 mg/m ³	0.10mg/m ³ 以下
	微小粒子状物質 (PM2.5)				
	日平均値の年間98%値	30.2 μg/m ³	24.2 μg/m ³	23.4 μg/m ³	35 μg/m ³ 以下
	年平均値	12.0 μg/m ³	10.6 μg/m ³	11.3 μg/m ³	15 μg/m ³ 以下
	河川水質 (BOD) 75%水質値 環境基準適合率	100%	91%	91%	100%
	下水道整備率	99.02%	99.02%	99.02%	100%
	下水道区域内の下水道による 水洗化率	96.91%	97.07%	96.92%	96.7%
	汚水処理人口普及率	97.9%	98.00%	94.82%	99.9%
自動車騒音 面的評価 環境 基準適合率	98.2%	94.9%	91%	100%	
道路交通振動 要請限度適合 率	100%	100%	100%	100%	
公害苦情相談件数	105件/年	78件/年	94件/年	100件/年	
(2) 化学物質の 監視	有害大気汚染物質 環境基準適合率 (ベンゼン・トリクロロエ チレン・ テトラクロロエチレン・ジ クロロメタン)	100%	100%	100%	100%

大気・水環境については市役所だけでなく、市民・事業者においても環境問題への意識の高まりから環境配慮型の設備への転換が広がっているものと考えられる。国・県の動向を含め今後も状況の把握に努めます。

図表 21 基本目標 2 住みやすい、豊かな自然・多様な生物、共生できるまちの実現

基本施策	環境指標	現状値			目標値 2027年度 (令和9年度)
		2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	
(1) 身近な自然環境 の保全	フジ棚 延長	2,154.7m	2,154.7m	2,154.7m	2154.7m
	地域のニーズに合わせてリニューアルした公園の利用頻度	44.4%	45.4%	46.2%	49.1%*
	河川・水路の清掃除草実施率	82.0%	86.4%	83.2%	100%
(2) 自然の活用 の推進	緑の募金緑化事業によって整備された生垣延長	1,149.8m	1,219.8m	1,292.6m	1,500m
	多面的機能支払交付金対象となっている農地面積	36,907a	46,922a	46,940a	52,000a
(3) 生物多様性の 保全	市民環境調査 参加人数	98人/年	81人/年	85人/年	100人/年
	自然観察会 参加のべ人数	162人/年	257人/年	137人/年	300人/年

自然環境や生物多様性の保全についてはGIS（地理情報システム）を活用し、市民がパソコンやスマートフォンを用いて地図上でどのような生き物が発見できたかを投稿する取り組みを令和2年度から実施しています。今後も自然環境や生物多様性について考える機会の創出に努めます。

図表 22 基本目標 3 考えよう、ごみの減量・リサイクル、持続可能なまちの実現

基本施策	環境指標	現状値			目標値 2027年度 (令和9年度)
		2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	
(1) ごみの減量化・ 持続可能な資源利用 の推進	家庭系ごみ				
	年間排出量	56,619 t/年	57,505 t/年	56,197 t/年	52,398t/年
	一人一日当たりの量	696 g/人・日	676 g/人・日	664 g/人・日	633g/人・日
	事業系ごみ年間排出量	19,618 t/年	20,805 t/年	21,398 t/年	12,000t/年
	資源化率	21.8%	21.8%	21.9%	27.0%
(2) 不法投棄の防止・ 環境美化活動の推進	不法投棄物の回収件数	127 件/年	82 件/年	70 件/年	200 件/年
	一斉美化活動 参加人数	0 人/年	0 人/年	0 人/年	28,000 人/年
(3) ごみの適正処理の 推進	年間最終処分量	3,279 t/年	3,168 t/年	3,103 t/年	3,100t/年

令和5年3月に実施した展示のみのイベントで市民に向けて食品ロスのパネルを掲示し、周知を図りました。今後のごみの減量に関する情報提供に努めます。

図表 23 基本目標 4 便利さよりも、無駄をなくしたエコライフ、低炭素なまちの実現

基本施策	環境指標	現状値			目標値 2027年度 (令和9年度)
		2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	
(1) エネルギーの管理と 高効率設備の導入 による省エネルギー の推進	エコライフDAYの取組による二酸化炭素削減量	-	-	10.5t-CO ₂ /年	25t-CO ₂ /年
	市民・事業者向け省エネルギー講習会・セミナー受講のべ人数	0人/年	0人/年	0人/年	200人/年
	グリーン購入に関する情報提供回数	1回/年	1回/年	3回/年	3回/年
	ライトダウンキャンペーン参加事業者数	0社/年	0社/年	0社/年	40社/年
	緑のカーテン苗・種の配布数	840本(個)/年	2,220本(個)/年	3,659本(個)/年	500本(個)/年
(2) 再生可能エネルギー等 の導入推進	住宅用太陽光発電設備導入件数	4,485件	4,776件	4,934件	6,000件
	市域全体の太陽光発電設備導入容量	35,533kW	37,784kW	39,401kW	40,000kW
	公共施設の再生可能エネルギー導入容量	3,363kW	3,363kW	3,363kW	2,500kW

省エネ活動を推進するため、2年ぶりにエコライフDAYの取組を再開しました。また、環境に配慮した設備を自宅に設置する市民へ市内共通商品券を交付する事業を実施しました。今後も省エネに関する情報提供や再生可能エネルギーの普及を推進します。

図表 24 基本目標 + 1 市民・事業者・市が、環境を共に考え自ら行動するまちの実現

基本施策	環境指標	現状値			目標値 2027年度 (令和9年度)
		2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	
(1) 環境意識	環境に関する各種取組の実施率の平均※1	-	-	-	70.0%
	環境施策満足度の順位※2	-	27/66	34/70	15位以内 /70位
	日頃から環境問題について意識している人の割合※3	-	76.8	78.5	90%
	日常的に環境に配慮した活動に取り組む事業者の割合※4	-	-	-	80.0%
	環境啓発のための発表・展示の実施回数	1回/年	1回/年	1回/年	3回/年
	かすかべ環境ネットワーク市民会員数	49人	51人	48人	100人
	かすかべ環境ネットワーク事業者会員数	28社	28社	29社	30社
(2) 環境教育	こどもエコクラブメンバー人数	65人	112人	49人	1,000人
	こどもエコクラブに関わる人数	521人	530人	532人	
	小学生向け環境学習講座講師協力者数	23人	16人	23人	24人
	市民向け環境学習講座受講のべ人数	0人/年	355人/年	275人/年	420人/年

※1 第2次春日部市環境基本計画に関するアンケート調査 市民アンケート

※2 市民意識調査において、第2次春日部市総合振興計画における70施策に対する満足度を順位づけしたものの。環境施策とは、「環境にやさしい持続可能な取組の推進（旧 環境保全・創造の推進）」を示す

※3 市民意識調査における設問

※4 第2次春日部市環境基本計画に関するアンケート調査 事業者アンケート

環境意識の向上を目的とするため展示のみのイベントを開催し、多くの市民に参加していただきました。今後はイベントの手法を検討しながらより効果的な啓発に取り組みます。また、地域の環境啓発の担い手となるような環境学習講座講師の育成を進めていきます。

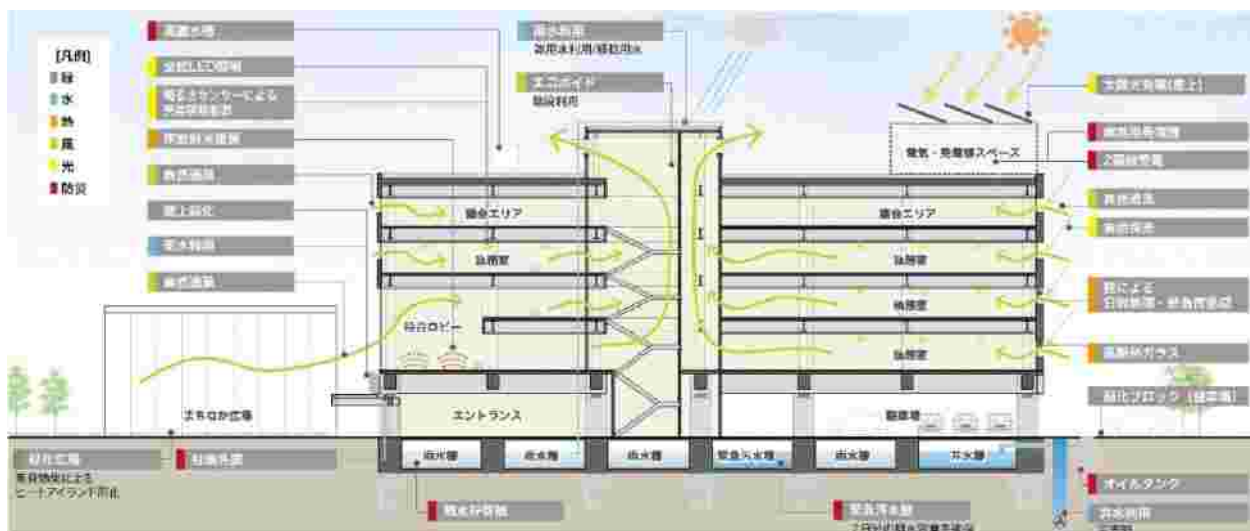
10. 組織における主な重点推進事項

重点推進事項1 環境負荷の少ない公共施設への転換（改修・更新）

・新設や大規模な更新が計画されている施設は、環境への負荷を最小限とするゼロエネルギービル（ZEB）を目指します。

新しい市役所（春日部市本庁舎整備）実施設計（案）中間報告より抜粋。

- ①自然換気システムにより外周からエコボイド（階段利用）へ抜ける風の道を作る事で、中間期における執務空間の快適性向上と省エネルギーを両立します。
- ②建物外装の断熱性の向上を図り、内部の熱負荷を抑えることで、エネルギー消費を節約します。
- ③高効率熱源機器の採用により、熱源システムの効率化を図り、省エネ効果を高めます。
- ④建物外壁面に庇を設置し、日射の制御をすることで、熱負荷の低減を図ります。
- ⑤既存棟は、高断熱ガラスの採用により熱負荷の低い開口部に改修します。
- ⑥エネルギー使用状況が把握可能なビル・エネルギー管理システムにより、エネルギー消費について、庁舎運用の最適化を図ります。



図表 25 新しい市役所（春日部市本庁舎整備）実施設計（案）中間報告より 環境・経済性に配慮した庁舎の説明資料

重点推進事項2 環境負荷の少ない移動手段への転換

- ・ 公用車を更新する際には次世代自動車等（電気自動車・燃料電池自動車・プラグインハイブリッド車等）、経済性や環境性に配慮して車両の転換を進めます。

春日部市は、環境負荷の少ない移動手段への転換に向け、超小型電気自動車（COMS（コムス） 図表 26）を公用車として令和元年 11 月 1 日より試験的に導入しました。

○試験的導入の経緯

春日部市は、平成 31 年 3 月に「公用車における次世代自動車導入の基本方針」を策定しました。

その検討過程で、職員が一人で出かける用務でも 4 人乗り公用車を利用するケースが多く見受けられたことから、より効率的で安全な、かつ環境負荷の少ない公用車として「超小型電気自動車」を導入することになりました。

このことは、春日部市が推進する SDGs（エスディーゼーズ）（持続可能な開発目標）の理念に沿ったものであり、市として、より一層環境対策に取り組んでいくことを示すものです。



図表 26 コムス試験的導入の様子

その他の取組

○ゼロカーボンシティ宣言

令和3年3月11日、令和3年3月春日部市議会定例会において、市長が2050年に二酸化炭素の排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指す宣言をしました。

今後の取組として以下の点を実施します。

- ・公共施設における再生可能エネルギーの推進などを図ります。
- ・市民や事業者へ省エネを促すとともに、環境配慮型設備設置の奨励を行います。
- ・次期地球温暖化対策実行計画において、2050年に二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す旨を記載します。

その他、実質ゼロに向けた効果的な施策について検討を進めます。

○SDGs 未来都市

令和2年7月17日、春日部市がSDGsの達成に向け優れた取り組みを進める「SDGs 未来都市」に選定されました。

春日部市は、誰もが「住んでみたい、住み続けたい」と思うまちの実現に向けて、次の2点をテーマとしてSDGsの達成を目指す計画を提案しました。

- ・人が行き交うにぎわいの創出、全ての人にとっての快適な暮らし、環境に配慮し自然と共生する暮らしの実現
- ・武里団地と周辺において、「人」をつなぐ「交流促進」、「まち」をつなぐ「環境整備」、「人」と「まち」をつなぐ「魅力創造」によって、世代が循環し続ける持続可能かつ幸福感のあるエリア形成

今後、未来都市としての計画を策定し、持続可能なまちづくりの実現に取り組みます。



図表 27
ゼロカーボンシティ宣言に対する
環境大臣からのメッセージ



図表 28 SDGs 未来都市選定証

1 1. 環境配慮行動

春日部市の目指す環境像を実現するために市が取り組む基本的な行動や取組を示したものです。各課で設定した業務に関わる数値目標と各部で設定した行動指針について図表29で示します。

図表 29 各課における環境経営目標の設定状況

課名	実施場所 出先機関	環境経営目標	実績値									目標値			各課にて設定した行動目標
			年度	数値	単位	年度	数値	単位	年度	数値	単位	年度	数値	単位	
秘書課	秘書課	ガソリンの削減	2020	1,375	L	2021	1,115	L	2022	200	L	2023	198	L	エコドライブを実施する。
危機管理 防災課	危機管理防 災課	グリーン購入法に適した災害用備蓄品の購入率	2020	100	%	2021	100	%	2022	100	%	2023	100	%	グリーン購入法適合商品等の購入等の徹底を図る。
政策企画課	政策企画課	総合振興計画・行政評価の達成率	2020	24.6	%	2021	24.2	%	2022	23.8	%	2023	100	%	計画的な進捗管理を行うとともに、施策の調査、総合調整を行っていく。
シティセールス広報課	シティセールス広報課	HP 訪問者数向上	2020	7,756,000	件	2021	7,135,000	件	2022	4,059,000	件	2023	4,594,800	件	迅速かつ正確な情報発信に取り組んでいく。
行政デジタル改革課	行政デジタル改革課	電子決裁率の向上	2020	-	%	2021	-	%	2022	-	%	2023	97	%	「電子決裁運用指針」に定められた「電子決裁の対象とならない文書」以外は全て電子決裁とし、紙資源の節約を図る。
情報システム課	情報システム課	電子申請の件数	2020	10,092	件	2021	21,701	件	2022	25,798	件	2023	22,000	件	システムの適正管理、安定稼働を図っていく。
公共施設事業調整課	公共施設事業調整課	カラー印刷枚数削減	2020	23,884	枚	2021	15,942	枚	2022	18,274	枚	2023	17,909	枚	初期設定を白黒にし、不用意なカラー印刷を行わない。
財政課	財政課	カラー印刷枚数削減	2020	1,349	枚	2021	217	枚	2022	164	枚	2023	161	枚	初期設定を白黒にし、不用意なカラー印刷を行わない。
管財課	本庁舎・別館	施設管理の燃料削減（ガソリン）	2020	3,456	L	2021	9,670	L	2022	8,111	L	2023	7,948	L	エコドライブを実施する。
管財課	本庁舎・別館	施設管理の燃料削減（軽油）	2020	543	L	2021	431	L	2022	495	L	2023	485	L	エコドライブを実施する。
管財課	本庁舎・別館	施設管理の燃料削減（都市ガス）	2020	100,542	m3	2021	99,122	m3	2022	103,668	m3	2023	101,595	m3	ガス器具の使用を可能な限りひかえる
管財課	本庁舎・別館	施設管理の燃料削減（電気）	2020	1,010,546	kwh	2021	1,045,014	kwh	2022	1,020,522	kwh	2023	1,000,112	kwh	使用していない電気機器の電源を切り、コンセントを抜く。
管財課	本庁舎・別館	施設管理の燃料削減（公用車走行距離）	2020	71,138	km	2021	100,386	km	2022	89,427	km	2023	87,638	km	外出するときは、徒歩・自転車・公共交通機関を利用するように心がける。
管財課 （第2別館）	第2別館	施設管理の燃料削減（電気）	2020	43,800	kwh	2021	45,218	kwh	2022	44,734	kwh	2023	43,839	kwh	使用していない電気機器の電源を切り、コンセントを抜く。
管財課 （第3別館）	第3別館	施設管理の燃料削減（電気）	2020	96,044	kwh	2021	93,058	kwh	2022	91,006	kwh	2023	89,186	kwh	使用していない電気機器の電源を切り、コンセントを抜く。
市民税課	市民税課	カラー印刷枚数削減	2020	159	枚	2021	799	枚	2022	1,431	枚	2023	1,402	枚	初期設定を白黒にし、不用意なカラー印刷を行わない。
資産税課	資産税課	カラー印刷枚数削減	2020	6,095	枚	2021	6,145	枚	2022	8,226	枚	2023	8,061	枚	初期設定を白黒にし、不用意なカラー印刷を行わない。
収納管理課	収納管理課	カラー印刷枚数削減	2020	120	枚	2021	140	枚	2022	247	枚	2023	242	枚	初期設定を白黒にし、不用意なカラー印刷を行わない。
総務課	総務課	電子決裁率の向上	2020	40	%	2021	44	%	2022	46	%	2023	47	%	電子決裁について周知・奨励していく。
人権共生課	人権共生課	電子決裁率の向上	2020	-	%	2021	-	%	2022	-	%	2023	96	%	電子決裁について奨励していく。

課名	実施場所 出先機関	環境経営目標	実績値									目標値			各課にて設定した行動目標
			年度	数値	単位	年度	数値	単位	年度	数値	単位	年度	数値	単位	
人事課	人事課	適性な職員数の確保	2020	1,414	人	2021	1,431	人	2022	1,444	人	2023	1,457	人	環境分野へ適正な職員数を配置し、市民サービスの向上に努める。また、職員数を増やすことで時間外労働時間を削減していく。
市政情報課	市政情報課	相談件数	2020	2,933	件	2021	2,930	件	2022	3,150	件	2023	2,966	件	市民が気軽に相談できるよう体制を整備していく。
契約課	契約課	カラー印刷枚数削減	2020	496	枚	2021	1,433	枚	2022	600	枚	2023	588	枚	初期設定を白黒にし、不用意なカラー印刷を行わない。
くらしの安全課	くらしの安全課	通学路における防犯カメラの設置	2020	22	台	2021	35	台	2022	48	台	2023	58	台	危険個所や不審者情報の多い箇所等の真に必要な個所へ設置していく。
市民参加推進課	市民参加推進課	NPO と協働で行われた事業数	2020	68	件	2021	85	件	2022	89	件	2023	130	件	市民団体の数を増やす取組や、団体自身が成長できるような取組を進めていく。
市民課	市民課	マイナンバーカードの交付率向上	2020	28	%	2021	42	%	2022	62	%	2023	60	%	交付円滑化計画に基づき、カード普及を促進していく。
庄和総合支所	庄和総合支所	施設管理の燃料削減（電気使用量）	2020	907,235	kwh	2021	1,008,465	kwh	2022	1,025,149	kwh	2023	1,004,646	kwh	接客時など必要がある場合を除き、昼休みは照明を消す。
福祉総務課	春日部市総合福祉センター	施設管理の燃料削減（都市ガス）	2020	76,328	m3	2021	49,768	m3	2022	46,082	m3	2023	45,160	m3	給湯器やガスコンロの使用を控える。
福祉総務課	春日部市総合福祉センター	施設管理の燃料削減（電気）	2020	357,090	kwh	2021	368,665	kwh	2022	371,343	kwh	2023	363,916	kwh	使用していない電気機器の電源を切り、コンセントを抜く。
生活支援課	生活支援課	電子決済率の向上	2020	-	%	2021	-	%	2022	-	%	2023	65	%	電子決済について奨励していく。
高齢者支援課	高齢者支援課	元気アップ教室の参加者	2020	195	人	2021	317	人	2022	225	人	2023	63	人	高齢者の健康づくりを検討し、高齢者自ら関心を持てるよう促していく。
高齢者支援課	高齢者福祉センター幸楽荘	施設管理の燃料削減（灯油）	2020	16,039	L	2021	15,660	L	2022	20,533	L	2023	20,122	L	浴槽及び空調を適切な温度に維持することで、必要以上の燃料を消費しないよう努めていく。
高齢者支援課	大池憩いの家	施設管理の燃料削減（A重油）	2020	6,000	L	2021	5,000	L	2022	11,900	L	2023	11,662	L	浴槽を適切な温度に維持することで、必要以上の燃料を消費しないよう努めていく。
高齢者支援課	薬師沼憩いの家	施設管理の燃料削減（灯油）	2020	7,923	L	2021	4,592	L	2022	8,893	L	2023	8,715	L	浴槽を適切な温度に維持することで、必要以上の燃料を消費しないよう努めていく。
障がい者支援課	障害者就労支援センター	障害者就労支援センターの支援による就労者数（累積人数）	2020	385	人	2021	422	人	2022	431	人	2023	456	人	市内の関係機関と連携を図り、障がいのある人の就労支援や就労後の定着支援を行っていく。
こども育成課	こども育成課	公用車の年間平均給油量の削減（単位：ℓ）	2020	233	L	2021	223	L	2022	264	L	2023	270	ℓ	外出するときは、徒歩・自転車・公共交通機関を利用するように心がける。
こども相談課	こども相談課	公用車（専属車）の月間平均走行距離	2020	214	km	2021	216	km	2022	292	km	2023	286	km	外出するときは、徒歩・自転車・公共交通機関を利用するように心がける。
こども支援課	こども支援課	カラー印刷枚数削減	2020	-	枚	2021	-	枚	2022	-	枚	2023	100	枚	初期設定を白黒にし、不用意なカラー印刷を行わない。
保育課	保育課	カラー印刷枚数削減	2020	1,868	枚	2021	2,362	枚	2022	2,176	枚	2023	1,000	枚	初期設定を白黒にし、不用意なカラー印刷を行わない。
保育課	庄和第2保育所	施設管理の燃料削減（電気）	2020	28,728	kwh	2021	31,913	kwh	2022	34,610	kwh	2023	33,918	kwh	使用していない電気機器の電源を切り、コンセントを抜く。

課名	実施場所 出先機関	環境経営目標	実績値									目標値			各課にて設定した行動目標
			年度	数値	単位	年度	数値	単位	年度	数値	単位	年度	数値	単位	
保育課	第3保育所	施設管理の燃料削減 (電気)	2020	26,103	kwh	2021	27,236	kwh	2022	24,866	kwh	2023	24,369	kwh	使用していない電気機器の電源を切り、コンセントを抜く。
保育課	第4保育所	施設管理の燃料削減 (電気)	2020	28,431	kwh	2021	29,694	kwh	2022	30,960	kwh	2023	30,341	kwh	使用していない電気機器の電源を切り、コンセントを抜く。
保育課	第5保育所	施設管理の燃料削減 (灯油)	2020	2,620	L	2021	2,191	L	2022	2,020	L	2023	1,980	L	室温管理を徹底し扇風機を併用するなど暖房効率を良くする。
保育課	第5保育所	施設管理の燃料削減 (都市ガス)	2020	3,433	m3	2021	3,360	m3	2022	3,505	m3	2023	3,435	m3	気温により、給湯機の使用を控える。
保育課	第5保育所	施設管理の燃料削減 (電気)	2020	31,047	kwh	2021	36,019	kwh	2022	35,630	kwh	2023	34,917	kwh	使用していない電気機器の電源を切り、コンセントを抜く。
保育課	第6保育所	施設管理の燃料削減 (灯油)	2020	1,430	L	2021	2,020	L	2022	2,140	L	2023	2,097	L	扇風機やサーキュレーター・換気測定計等を活用して暖房効率を高める。
保育課	第6保育所	施設管理の燃料削減 (電気)	2020	20,401	kwh	2021	21,890	kwh	2022	24,754	kwh	2023	24,259	kwh	使用していない電気機器の電源を切り、コンセントを抜く。
保育課	第7保育所	施設管理の燃料削減 (都市ガス)	2020	1,674	m3	2021	1,609	m3	2022	1,706	m3	2023	1,672	m3	気温により、給湯機の使用を控える。
保育課	第7保育所	施設管理の燃料削減 (電気)	2020	28,682	kwh	2021	31,472	kwh	2022	33,980	kwh	2023	33,300	kwh	使用していない電気機器の電源を切り、コンセントを抜く。
保育課	第8保育所	施設管理の燃料削減 (灯油)	2020	1,530	L	2021	1,960	L	2022	1,550	L	2023	1,519	L	室温管理を徹底し扇風機を併用するなど暖房効率を良くする。
保育課	第8保育所	施設管理の燃料削減 (LPG)	2020	1,023	m3	2021	1,024	m3	2022	1,072	m3	2023	1,050	m3	使用していない時は、ガスの元栓を閉めるように心がける。
保育課	第8保育所	施設管理の燃料削減 (電気)	2020	22,799	kwh	2021	25,630	kwh	2022	30,025	kwh	2023	29,425	kwh	使用していない電気機器の電源を切り、コンセントを抜く。
健康課	健康課	熱中症予防対策の取り組み数	2020	116.0	回・所	2021	82.0	回・所	2022	121.0	回・所	2023	123	回・所	熱中症予防リーフレットの配布。安心安全メール・防災行政無線の活用・周知。
健康課	健康福祉センター	施設管理の燃料削減 (電気使用量)	2020	223,330	kwh	2021	219,535	kwh	2022	188,127	kwh	2023	184,364	kwh	使用していない電気機器の電源を切り、コンセントを抜く。
健康課	保健センター	施設管理の燃料削減 (電気使用量)	2020	109,702	kwh	2021	114,149	kwh	2022	119,771	kwh	2023	117,376	kwh	使用していない電気機器の電源を切り、コンセントを抜く。
介護保険課	介護保険課	ガソリンの削減	2020	1,668	L	2021	1,686	L	2022	1,593	L	2023	1,561	L	エコドライブを実施する。
国民健康保険課	国民健康保険課	特定健康診査受診率向上	2020	44.1	%	2021	45.5	%	2022	46.2	%	2023	60	%	AIを活用した統計解析による対象者への効果的な受診勧奨の実施回数を検討していく。
環境政策課	環境政策課	エコアクション21における目標値達成率の向上	2020	-	%	2021	50.3	%	2022	43.6	%	2023	100	%	エコアクション21における環境経営目標を周知し、啓発していく。
リサイクル衛生課	リサイクル衛生課	家庭系ごみ一日あたりの排出量減少	2020	696	g/日・人	2021	676	g/日・人	2022	664	g/日・人	2023	649	g/日・人	市民参加型の食品ロスに関する啓発イベントの実施に努めていく。
廃棄物対策課	環境センター	施設管理の燃料削減 (ガソリン)	2020	1,153	L	2021	675	L	2022	649	L	2023	636	L	エコドライブを実施する。
廃棄物対策課	環境センター	施設管理の燃料削減 (灯油)	2020	23,800	L	2021	22,319	L	2022	20,876	L	2023	20,458	L	ごみ焼却施設の安定的な立上げ作業を心がける。
廃棄物対策課	環境センター	施設管理の燃料削減 (軽油)	2020	38	L	2021	20	L	2022	60	L	2023	59	L	エコドライブを実施する。
廃棄物対策課	環境センター	施設管理の燃料削減 (LPG)	2020	168	m3	2021	38	m3	2022	49	m3	2023	48	m3	使用していない時は、ガスの元栓を閉めるように心がける。

課名	実施場所 出先機関	環境経営目標	実績値									目標値			各課にて設定した行動目標
			年度	数値	単位	年度	数値	単位	年度	数値	単位	年度	数値	単位	
廃棄物対策課	環境センター	施設管理の燃料削減(電気)	2020	367,128	kwh	2021	266,532	kwh	2022	372,132	kwh	2023	364,689	kwh	使用していない電気機器の電源を切り、コンセントを抜く。
廃棄物対策課	環境センター	施設管理の燃料削減(公用車走行距離)	2020	11,866.0	km	2021	7,762.0	km	2022	6,395.0	km	2023	6,267	km	外出するときは、徒歩・自転車・公共交通機関を利用するように心がける。
廃棄物対策課	クリーンセンター・資源選別センター	施設管理の燃料削減(軽油)	2020	2,660	L	2021	1,740	L	2022	1,600	L	2023	1,568	L	エコドライブを実施する。
廃棄物対策課	クリーンセンター・資源選別センター	施設管理の燃料削減(電気)	2020	358,123	kwh	2021	332,666	kwh	2022	335,638	kwh	2023	328,925	kwh	使用していない電気機器の電源を切り、コンセントを抜く。
廃棄物対策課	クリーンセンター・資源選別センター	施設管理の燃料削減(公用車走行距離)	2020	3,888	km	2021	2,622	km	2022	2,560	km	2023	2,509	km	外出するときは、徒歩・自転車・公共交通機関を利用するように心がける。
商工振興課	商工振興課	就職支援セミナーの満足度	2020	95	%	2021	98	%	2022	90	%	2023	98	%	国や県、その他関係機関と連携のもと、就労希望者や被雇用者への支援を行っていく。
観光振興課	観光振興課	観光入込客数	2020	766,691	人	2021	729,789	人	2022	650,494	人	2023	2,048,000	人	観光関連事業者・団体・市民連携を図りながら観光推進体制を構築していく。
農業振興課	農業振興課	多面的機能支払交付金対象農地面積	2020	36,907	a	2021	46,922	a	2022	46,940	a	2023	49,000	a	多面的機能支払い交付金を活用した活動の周知を図り、対象農地面積拡大のための推進活動を行う
道路管理課	道路管理課	舗装率	2020	84.9	%	2021	85.1	%	2022	85.1	%	2023	85.7	%	安全で快適に移動できる道路の整備を進めていく。
道路建設課	道路建設課	修繕済み橋りょう	2020	15	箇所	2021	15	箇所	2022	15	箇所	2023	25	箇所	安全で安心できる橋りょうを目指し、橋りょう長寿命化修繕事業を進めていく。
河川課	河川課	河川・水路の清掃除草実施率 (%)	2020	77	%	2021	86	%	2022	83	%	2023	92	%	安全で安心できる水路の維持管理を進めていく。
公園緑地課	公園緑地課	地域のニーズに合わせてリニューアルした公園の利用頻度	2020	45	%	2021	45	%	2022	46	%	2023	47	%	老朽化している公園を子供から高齢者までが一緒に触れ合える公園として、再整備を行い公園の魅力を高めます。
都市計画課	都市計画課	鉄道・バスの1日平均乗降客数	2020	129,000	人	2021	139,000	人	2022	146,000	人	2023	139,000	人	「地域公共交通計画」に定めた施策を着実に進めていく。
まちづくり推進課	まちづくり推進課	カラー印刷枚数削減	2020	30,223.0	枚	2021	24,672.0	枚	2022	19,883.0	枚	2023	19,485	枚	初期設定を白黒にし、不用意なカラー印刷を行わない。
まちづくり推進課	西金野井第二土地区画整理事務所	カラー印刷枚数削減	2020	1,777	枚	2021	3,482	枚	2022	3,290	枚	2023	3,134	枚	初期設定を白黒にし、不用意なカラー印刷を行わない。
鉄道高架整備課	鉄道高架整備課	春日部駅周辺に対する市民満足度(魅力とにぎわいのある中心市街地の創出満足度)	2020	38	%	2021	40	%	2022	38	%	2023	44	%	埼玉県、東武鉄道と連携し、春日部駅付近連続立体交差事業を着実に進める。
開発調整課	開発調整課	カラー印刷枚数削減	2020	1,971	枚	2021	1,510	枚	2022	2,223	枚	2023	2,179	枚	初期設定を白黒にし、不用意なカラー印刷を行わない。

課名	実施場所 出先機関	環境経営目標	実績値									目標値			各課にて設定した行動目標
			年度	数値	単位	年度	数値	単位	年度	数値	単位	年度	数値	単位	
建築課	建築課	カラー印刷枚数削減	2020	4,748	枚	2021	2,434	枚	2022	5,061	枚	2023	4,960	枚	初期設定を白黒にし、不用意なカラー印刷を行わない。
住宅政策課	住宅政策課	空き家リノベーションに関する申請件数	2020	26	件	2021	27	件	2022	20	件	2023	28	件	効果的な制度の周知を図ることで、活用可能な空き家の利活用を促していく。
会計課	会計課	カラー印刷枚数削減	2020	20	枚	2021	11	枚	2022	25	枚	2023	25	枚	初期設定を白黒にし、不用意なカラー印刷を行わない。
看護専門学校	看護専門学校	施設管理の燃料削減(ガソリン)	2020	124	L	2021	150	L	2022	186	L	2023	182	L	エコドライブを実施する。
看護専門学校	看護専門学校	施設管理の燃料削減(都市ガス)	2020	2,230	m3	2021	2,486	m3	2022	2,396	m3	2023	2,348	m3	ガス器具の使用を可能な限りひかえる
看護専門学校	看護専門学校	施設管理の燃料削減(電気)	2020	50,274	kwh	2021	48,377	kwh	2022	48,474	kwh	2023	47,505	kwh	使用していない電気機器の電源を切り、コンセントを抜く。
看護専門学校	看護専門学校	施設管理の燃料削減(公用車走行距離)	2020	2,126	km	2021	2,712	km	2022	2,605	km	2023	2,553	km	外出するときは、徒歩・自転車・公共交通機関を利用するように心がける。
教育総務課	教育総務課	施設管理の燃料削減(ガソリン)	2020	5,979	L	2021	5,301	L	2022	4,977	L	2023	4,878	L	エコドライブを実施する。
教育総務課	教育総務課	施設管理の燃料削減(都市ガス)	2020	34,683	m3	2021	39,091	m3	2022	39,179	m3	2023	38,395	m3	ガス器具の使用を可能な限りひかえる
教育総務課	教育総務課	施設管理の燃料削減(電気)	2020	377,506	kwh	2021	398,925	kwh	2022	389,511	kwh	2023	381,721	kwh	使用していない電気機器の電源を切り、コンセントを抜く。
教育総務課	教育総務課	施設管理の燃料削減(公用車走行距離)	2020	45,288	km	2021	36,424	km	2022	36,626	km	2023	35,942	km	外出するときは、徒歩・自転車・公共交通機関を利用するように心がける。
教育総務課	市民文化会館	施設管理の燃料削減(都市ガス)	2020	55,882.0	m3	2021	73,139.0	m3	2022	79,518.0	m3	2023	77,928	m3	ガス器具の使用を可能な限りひかえる
教育総務課	市民文化会館	施設管理の燃料削減(電気)	2020	537,743.0	kwh	2021	715,455.0	kwh	2022	780,762.0	kwh	2023	765,147	kwh	使用していない電気機器の電源を切り、コンセントを抜く。
教育施設課	教育施設課	学校の校舎トイレの改修(洋便器化など)	2020	—	校	2021	13	校	2022	16	校	2023	19	校	関係部署と連携し、校舎トイレ改修工事を進めていく。
学務課	学務課	通学路安全対策の達成率	2020	85	%	2021	79	%	2022	92	%	2023	82	%	継続的な現地状況の把握、計画的な安全対策を実施していく。
学校給食課	学校給食センター	施設管理の燃料削減(ガソリン)	2020	208	L	2021	191	L	2022	175	L	2023	172	L	継続的な燃料消費の削減に努める。
学校給食課	学校給食センター	施設管理の燃料削減(灯油)	2020	110,000	L	2021	126,000	L	2022	146,000	L	2023	143,080	L	継続的な燃料消費の削減に努める。
学校給食課	学校給食センター	施設管理の燃料削減(LPG)	2020	3,491	m3	2021	3,035	m3	2022	4,480	m3	2023	4,390	m3	継続的な燃料消費の削減に努める。
学校給食課	学校給食センター	施設管理の燃料削減(電気)	2020	419,651	kwh	2021	410,919	kwh	2022	391,410	kwh	2023	383,582	kwh	使用していない電気機器の電源を切り、コンセントを抜く。
学校給食課	学校給食センター	施設管理の燃料削減(公用車走行距離)	2020	4,704.0	km	2021	3,786.0	km	2022	3,514.0	km	2023	3,443.7	km	外出するときは、徒歩・自転車・公共交通機関を利用するように心がける。
指導課	指導課	研究委嘱校の割合の増加	2020	71	%	2021	68	%	2022	68	%	2023	64	%	研究委嘱校への指導助言及び研究推進への支援の充実を図る。
社会教育課	社会教育課	電子決裁率の向上	2020	51.2	%	2021	52.5	%	2022	59.6	%	2023	60.8	%	文書の電子化と電子決裁を推進していく。
文化財課	文化財課	郷土資料館の利用者数	2020	4,318	人	2021	6,845	人	2022	10,504	人	2023	10,000	人	展示内容の更新や充実を図っていく。

課名	実施場所 出先機関	環境経営目標	実績値									目標値			各課にて設定した行動目標
			年度	数値	単位	年度	数値	単位	年度	数値	単位	年度	数値	単位	
スポーツ 推進課	スポーツ推 進課	スポーツ教室やイベン トの満足度向上	2020	98	%	2021	79	%	2022	87	%	2023	81	%	参加者や講師など全ての人が安心・安全に参加できるスポーツ教室やイベントの実施に努めていく。
中央公民館	中央公民館	施設管理の燃料削減 (電気)	2020	383,929	kwh	2021	454,116	kwh	2022	446,351	kwh	2023	437,424	kwh	使用していない電気機器の電源を切り、コンセントを抜く。
粕壁南公民館	粕壁南公民館	施設管理の燃料削減 (ガソリン)	2020	284	L	2021	390	L	2022	420	L	2023	411	L	エコドライブを実施する。
粕壁南公民館	粕壁南公民館	施設管理の燃料削減 (LPG)	2020	15	m3	2021	14	m3	2022	15	m3	2023	15	m3	給湯器やガスコンロの使用を控える。
粕壁南公民館	粕壁南公民館	施設管理の燃料削減 (電気)	2020	71,159	kwh	2021	80,860	kwh	2022	94,133	kwh	2023	92,250	kwh	使用していない電気機器の電源を切り、コンセントを抜く。
粕壁南公民館	粕壁南公民館	施設管理の燃料削減 (公用車走行距離)	2020	1,765	km	2021	1,752	km	2022	2,520	km	2023	2,470	km	外出するときは、徒歩・自転車・公共交通機関を利用するように心がける。
内牧地区公民館	内牧地区公民館	施設管理の燃料削減 (ガソリン)	2020	190	L	2021	129	L	2022	164	L	2023	160	L	エコドライブを実施する。
内牧地区公民館	内牧地区公民館	施設管理の燃料削減 (LPG)	2020	18	m3	2021	17	m3	2022	26	m3	2023	25	m3	給湯器やガスコンロの使用を控える。
内牧地区公民館	内牧地区公民館	施設管理の燃料削減 (電気)	2020	105,295	kwh	2021	117,049	kwh	2022	109,537	kwh	2023	107,346	kwh	使用していない電気機器の電源を切り、コンセントを抜く。
内牧地区公民館	内牧地区公民館	施設管理の燃料削減 (公用車走行距離)	2020	2,929	km	2021	2,126	km	2022	2,559	km	2023	2,508	km	外出するときは、徒歩・自転車・公共交通機関を利用するように心がける。
内牧南公民館	内牧南公民館	施設管理の燃料削減 (LPG)	2020	20	m3	2021	18	m3	2022	24	m3	2023	23	m3	給湯器やガスコンロの使用を控える。
内牧南公民館	内牧南公民館	施設管理の燃料削減 (電気)	2020	19,880	kwh	2021	20,338	kwh	2022	32,293	kwh	2023	31,647	kwh	使用していない電気機器の電源を切り、コンセントを抜く。
豊春地区公民館	豊春地区公民館	施設管理の燃料削減 (ガソリン)	2020	304	L	2021	239	L	2022	198	L	2023	194	L	エコドライブを実施する。
豊春地区公民館	豊春地区公民館	施設管理の燃料削減 (都市ガス)	2020	22	m3	2021	26	m3	2022	29	m3	2023	28	m3	給湯器やガスコンロの使用を控える。
豊春地区公民館	豊春地区公民館	施設管理の燃料削減 (電気)	2020	85,812	kwh	2021	102,258	kwh	2022	101,774	kwh	2023	99,739	kwh	使用していない電気機器の電源を切り、コンセントを抜く。
豊春地区公民館	豊春地区公民館	施設管理の燃料削減 (公用車走行距離)	2020	2,911	km	2021	2,643	km	2022	2,359	km	2023	2,312	km	外出するときは、徒歩・自転車・公共交通機関を利用するように心がける。
豊春第二公民館	豊春第二公民館	施設管理の燃料削減 (LPG)	2020	20	m3	2021	21	m3	2022	14	m3	2023	14	m3	給湯器やガスコンロの使用を控える。
豊春第二公民館	豊春第二公民館	施設管理の燃料削減 (電気)	2020	53,760	kwh	2021	60,284	kwh	2022	60,047	kwh	2023	58,846	kwh	使用していない電気機器の電源を切り、コンセントを抜く。
武里地区公民館	武里地区公民館	施設管理の燃料削減 (ガソリン)	2020	464	L	2021	243	L	2022	297	L	2023	291	L	エコドライブを実施する。
武里地区公民館	武里地区公民館	施設管理の燃料削減 (都市ガス)	2020	3,452	m3	2021	3,420	m3	2022	7,143	m3	2023	6,993	m3	給湯器やガスコンロの使用を控える。
武里地区公民館	武里地区公民館	施設管理の燃料削減 (電気)	2020	105,424	kwh	2021	111,886.0	kwh	2022	121,236.0	kwh	2023	118,811	kwh	使用していない電気機器の電源を切り、コンセントを抜く。
武里地区公民館	武里地区公民館	施設管理の燃料削減 (公用車走行距離)	2020	6,768	km	2021	6,374	km	2022	7,057	km	2023	6,916	km	外出するときは、徒歩・自転車・公共交通機関を利用するように心がける。

課名	実施場所 出先機関	環境経営目標	実績値									目標値			各課にて設定した行動目標
			年度	数値	単位	年度	数値	単位	年度	数値	単位	年度	数値	単位	
武里東公民館	武里東公民館	施設管理の燃料削減 (LPG)	2020	0	m3	2021	4	m3	2022	3	m3	2023	3	m3	給湯器やガスコンロの使用を控える。
武里東公民館	武里東公民館	施設管理の燃料削減 (電気)	2020	19,099	kwh	2021	19,333	kwh	2022	19,471	kwh	2023	19,082	kwh	使用していない電気機器の電源を切り、コンセントを抜く。
幸松地区公民館	幸松地区公民館	施設管理の燃料削減 (ガソリン)	2020	201	L	2021	156	L	2022	196	L	2023	192	L	エコドライブを実施する。
幸松地区公民館	幸松地区公民館	施設管理の燃料削減 (都市ガス)	2020	19,722	m3	2021	20,409	m3	2022	22,736	m3	2023	22,281	m3	給湯器やガスコンロの使用を控える。
幸松地区公民館	幸松地区公民館	施設管理の燃料削減 (電気)	2020	112,736	kwh	2021	112,073	kwh	2022	112,404	kwh	2023	110,156	kwh	使用していない電気機器の電源を切り、コンセントを抜く。
幸松地区公民館	幸松地区公民館	施設管理の燃料削減 (公用車走行距離)	2020	2,947	km	2021	2,556	km	2022	2,906	km	2023	2,848	km	外出するときは、徒歩・自転車・公共交通機関を利用するように心がける。
幸松第二公民館	幸松第二公民館	施設管理の燃料削減 (LPG)	2020	28	m3	2021	20	m3	2022	23	m3	2023	22	m3	給湯器やガスコンロの使用を控える。
幸松第二公民館	幸松第二公民館	施設管理の燃料削減 (電気)	2020	20,597	kwh	2021	21,338	kwh	2022	22,716	kwh	2023	22,262	kwh	使用していない電気機器の電源を切り、コンセントを抜く。
豊野地区公民館	豊野地区公民館	施設管理の燃料削減 (ガソリン)	2020	408	L	2021	538	L	2022	231	L	2023	226	L	エコドライブを実施する。
豊野地区公民館	豊野地区公民館	施設管理の燃料削減 (LPG)	2020	21	m3	2021	21	m3	2022	14	m3	2023	13	m3	給湯器やガスコンロの使用を控える。
豊野地区公民館	豊野地区公民館	施設管理の燃料削減 (電気)	2020	51,755	kwh	2021	49,748	kwh	2022	53,792	kwh	2023	52,716	kwh	使用していない電気機器の電源を切り、コンセントを抜く。
豊野地区公民館	豊野地区公民館	施設管理の燃料削減 (公用車走行距離)	2020	2,384	km	2021	4,417	km	2022	3,407	km	2023	3,339	km	外出するときは、徒歩・自転車・公共交通機関を利用するように心がける。
藤塚公民館	藤塚公民館	施設管理の燃料削減 (LPG)	2020	21	m3	2021	16	m3	2022	20	m3	2023	20	m3	給湯器やガスコンロの使用を控える。
藤塚公民館	藤塚公民館	施設管理の燃料削減 (電気)	2020	21,560	kwh	2021	24,142	kwh	2022	26,838	kwh	2023	26,301	kwh	使用していない電気機器の電源を切り、コンセントを抜く。
武里南地区公民館	武里南地区公民館	施設管理の燃料削減 (都市ガス)	2020	880	m3	2021	987	m3	2022	853	m3	2023	836	m3	ガス器具の使用を可能な限りひかえる
武里南地区公民館	武里南地区公民館	施設管理の燃料削減 (電気)	2020	17,856	kwh	2021	18,720	kwh	2022	17,836	kwh	2023	17,479	kwh	使用していない電気機器の電源を切り、コンセントを抜く。
武里大枝公民館	武里大枝公民館	施設管理の燃料削減 (ガソリン)	2020	211	L	2021	246	L	2022	285	L	2023	279	L	エコドライブを実施する。
武里大枝公民館	武里大枝公民館	施設管理の燃料削減 (都市ガス)	2020	13	m3	2021	9	m3	2022	21	m3	2023	21	m3	ガス器具の使用を可能な限りひかえる
武里大枝公民館	武里大枝公民館	施設管理の燃料削減 (電気)	2020	124,499	kwh	2021	143,012	kwh	2022	132,288	kwh	2023	129,642	kwh	使用していない電気機器の電源を切り、コンセントを抜く。
武里大枝公民館	武里大枝公民館	施設管理の燃料削減 (公用車走行距離)	2020	2,577	km	2021	2,583	km	2022	2,649	km	2023	2,596	km	外出するときは、徒歩・自転車・公共交通機関を利用するように心がける。
庄和地区公民館	庄和地区公民館	施設管理の燃料削減 (ガソリン)	2020	593	L	2021	542	L	2022	466	L	2023	457	L	エコドライブを実施する。
庄和地区公民館	庄和地区公民館	施設管理の燃料削減 (灯油)	2020	25,507	L	2021	28,614	L	2022	20,738	L	2023	20,323	L	空調を適切な温度に維持することで、必要以上の燃料を消費しないよう努めていく。
庄和地区公民館	庄和地区公民館	施設管理の燃料削減 (LPG)	2020	25	m3	2021	20	m3	2022	27	m3	2023	27	m3	給湯器やガスコンロの使用を控える。

課名	実施場所 出先機関	環境経営目標	実績値									目標値			各課にて設定した行動目標
			年度	数値	単位	年度	数値	単位	年度	数値	単位	年度	数値	単位	
庄和地区 公民館	庄和地区公 民館	施設管理の燃料削減 (電気)	2020	120,198	kwh	2021	138,307	kwh	2022	127,814	kwh	2023	125,258	kwh	使用していない電気機器の電源を切り、コンセントを抜く。
庄和地区 公民館	庄和地区公 民館	施設管理の燃料削減 (公用車走行距離)	2020	7,144	km	2021	6,706	km	2022	7,461	km	2023	7,312	km	外出するときは、徒歩・自転車・公共交通機関を利用するように心がける。
庄和南公 民館	庄和南公民 館	施設管理の燃料削減 (LPG)	2020	40	m3	2021	16	m3	2022	23	m3	2023	23	m3	給湯器やガスコンロの使用を控える。
庄和南公 民館	庄和南公民 館	施設管理の燃料削減 (電気)	2020	111,444	kwh	2021	126,535	kwh	2022	128,404	kwh	2023	125,836	kwh	使用していない電気機器の電源を切り、コンセントを抜く。
議会事務 局	議会事務局	カラー印刷枚数削減	2020	2,959	枚	2021	666	枚	2022	2,223	枚	2023	2,179	枚	初期設定を白黒にし、不用意なカラー印刷を行わない。
監査委員 事務局	監査委員事 務局	カラー印刷枚数削減	2020	97	枚	2021	316	枚	2022	414	枚	2023	406	枚	初期設定を白黒にし、不用意なカラー印刷を行わない。
農業委員 会事務局	農業委員会 事務局	カラー印刷枚数削減	2020	2,323	枚	2021	3,039	枚	2022	2,942	枚	2023	2,889	枚	初期設定を白黒にし、不用意なカラー印刷を行わない。

12. 環境関連法規の遵守状況

環境関連法規への違反や関係機関からの指摘事項などはありません。また、外部からの訴訟も受けていません。

図表 30 環境関連法規の遵守状況一覧

項目	環境関連法令	(正式名称)	要求事項等	推進する課 (庁内)
大気汚染	大気汚染防止法	—	ばい煙発生施設等の使用・適正管理	環境政策課
大気汚染	自動車 NOx・PM 法	自動車から排出される窒素酸化物及び粒子物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法	排出基準に適合した公用車の使用	—
水質汚濁	水質汚濁防止法	—	特定施設に係る届出、排水基準の遵守	環境政策課
水質汚濁	下水道法	—	下水道へ排出基準の遵守	経営総務課 (下水道)
水質汚濁	浄化槽法	—	浄化槽保守、排水水質の管理	リサイクル衛生課
水質汚濁	海洋汚染防止法	海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律	—	—
水質汚濁	瀬戸内海環境保全特別措置法	—	—	—
水質汚濁	湖沼水質保全特別措置法	—	—	—
土壌汚染	土壌汚染対策法	—	指定区域における土壌の適正管理	環境政策課
騒音	騒音規制法	—	騒音を発生する特定施設の設置・使用、特定建設作業の届出、建設工事に伴う騒音規制基準の遵守	環境政策課
振動	振動規制法	—	振動を発生する特定施設の設置・使用、特定建設作業の届出、建設工事に伴う振動規制基準の遵守	環境政策課
地盤沈下	工業用水法	—	—	—
地盤沈下	ビル用水法	建築物用地下水の採取の規制に関する法律	—	—
悪臭	悪臭防止法	—	規制基準の遵守、悪臭の防止	環境政策課
化学物質	化審法	化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律	化学物質の適正使用	—

項目	環境関連法令	(正式名称)	要求事項等	推進する課 (庁内)
化学物質	化管法	特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律	化学物質の排出量等の把握	—
化学物質	ダイオキシン特措法	ダイオキシン類対策特別措置法	特定施設の届出、排出基準の遵守、定期報告	—
化学物質	PCB 特措法	ポリ塩化ビフェニール廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法	PCB の適正な管理及び処理	リサイクル衛生課
化学物質	毒物及び劇物取締法	—	毒物及び劇物の取扱等の規制	—
化学物質	消防法	—	消防設備点検、消防訓練の実施	消防本部
化学物質	水銀汚染防止法	水銀による環境の汚染の防止に関する法律	水銀含有製品の製造、輸出、輸入を原則禁止	—
廃棄物・リサイクル	資源有効利用促進法	資源の有効な利用の促進に関する法律	使用済みパソコンの適正処理	廃棄物対策課
廃棄物・リサイクル	廃棄物処理法	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物及び産業廃棄物の減量、運搬、処理	廃棄物対策課
廃棄物・リサイクル	家電リサイクル法	特定家庭用機器再商品化法	家電製品（テレビ、エアコン、冷蔵庫など）の廃棄及びリサイクル	廃棄物対策課
廃棄物・リサイクル	建設リサイクル法	建築工事に係る資材の再資源化等に関する法律	建設資材の再資源化の促進、公共事業における建設廃棄物の再資源化と再利用の促進	建築課
廃棄物・リサイクル	食品リサイクル法	食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律	食物残さ等のリサイクル	リサイクル衛生課
廃棄物・リサイクル	自動車リサイクル法	使用済自動車の再資源化等に関する法律	公用車の廃棄及びリサイクル	—
廃棄物・リサイクル	プラスチック資源循環促進法	プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律	プラスチック廃棄物の分別	—
土地利用	工場立地法	—	工場立地の段階から、その周辺における公害の発生を抑制	—
地球環境保全・省エネ等	温暖化対策法	地球温暖化対策の推進に関する法律	温暖化対策の策定、実施。市民への働きかけ、報告書の提出、公表。	環境政策課

項目	環境関連法令	(正式名称)	要求事項等	推進する課 (庁内)
地球環境保全・省エネ等	省エネ法	エネルギーの使用の合理化等に関する法律	特定事業者（年間エネルギー使用量が原油換算値1,500kL）以上の届出	環境政策課、教育総務課
地球環境保全・省エネ等	フロン排出抑制法	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	対象機器の点検の実施、記録、保存 フロン類の適正な処理（廃棄、充填、回収）	環境政策課
地球環境保全・省エネ等	建築物省エネ法	建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律	一定規模の新築・増改築・大規模修繕における届出	建築課
条例	埼玉県生活環境保全条例	—	大気、水、土壌、その他の環境の保全	環境政策課
その他	グリーン購入法	国等による環境物品等の調達に関する法律	グリーン購入法適合商品の購入や環境に配慮した物品の購入	環境政策課、契約課、教育総務課
その他	環境配慮促進法	環境情報の提供等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律	環境配慮状況の情報提供	環境政策課
その他	環境配慮契約法	国等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する法律	環境負荷の少ない製品やサービスの調達	環境政策課
その他	環境教育推進法	環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律	環境保全の意欲増進と環境教育の推進に関する施策及び実施	環境政策課

13. 環境コミュニケーション

公害苦情申立件数は、やや減少傾向であり、各苦情申立ての処理状況としては、ほとんどの苦情が受理年度内に解決しています。

図表 31 公害苦情処理状況

年度	受理件数		処理件数					処理状況 (%)
	新規受理	前年度からの繰越	直接処理 (解決)	他へ移送	翌年度へ繰越	その他	合計	
H30	138	1	132	0	7	0	139	95.0
R元	99	8	102	0	5	0	107	95.3
R2	118	3	120	0	1	0	121	99.2
R3	75	1	75	0	1	0	76	98.7
R4	92	1	92	0	1	0	93	98.9

14. 教育・訓練の実施

講義形式での教育・訓練は新型コロナウイルス感染症の影響により中止し、通知等によりエコアクション21に関する周知活動を実施しました。

図表 32 教育・訓練の実施状況

時期	概要
R2.7	エコアクション21の概要説明に関する通知
R2.7	リサイクルボックスの適正利用に関する通知
R2.11	環境上の緊急事態への準備及び対応に関する通知
R3.1	環境負荷の途中経過の状況報告
R3.1	内部監査に関する通知
R3.12	環境負荷の途中経過の状況報告
R4.2	中間審査結果・指導事項の周知
R4.3	内部監査に関する通知
R4.8	環境負荷の途中経過の状況報告
R4.10	更新審査結果及び改善事項に関する通知
R5.1	内部監査に関する通知

15. 環境上の緊急事態への準備及び対応

事故や天災などを原因とする環境への重大な影響を最小限に留めるとともに、事業の継続性を担保するために、あらかじめ想定が必要です。

本庁舎・別館、第二別館、第三別館において火災を想定した避難訓練を実施しました。

16. 内部監査

日時：令和5年1月10日～1月27日

対象：道路管理課、道路建設課、河川課、公園緑地課、都市計画課、まちづくり推進課（西金野井第二土地区画整理事務所含む）、鉄道高架推進課、開発調整課、建築課、住宅政策課、会計課、看護専門学校

内部監査を実施した結果、適正に施設が運営されていることが確認できました。

17. 代表者による全体評価

春日部市は、平成29年度に「第2次春日部市環境基本計画」及び「第2次春日部市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を策定し、環境の保全と創造に関するさまざまな施策を総合的かつ計画的に取り組んでいます。

現在、建設中の新本庁舎は、環境・経済面に配慮した庁舎とすることを基本方針として整備を進めていますが、この新本庁舎整備を契機としてエコアクション21の環境マネジメントシステムを取り入れることで、市職員の環境意識のさらなる向上を目指すとともに、地域の環境負荷低減への波及を期待し、エコアクション21の認証取得を目指すこととしたものです。

令和元年10月1日にキックオフ宣言をしてから取り組んだエコアクション21につきましては、PDCAサイクルによる見直しを行っているものの、一部目標の達成に至らなかった項目もあります。他方、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、市役所を取り巻く環境が大幅に変化しています。このような状況の変化に対応しつつ、「第2次春日部市環境基本計画」の基本理念である「自然と人とが共生し 未来につなぐ環境を みんなで育てまもるまち・春日部」を実現するために、目標の達成に至らなかった原因を検証し、対策を講じることで、目標達成に努めてまいります。

また、SDGsに係る施策の実施に向けて、企業、団体が集う場を構築し、地域全体のSDGs達成に向けたムーブメントを生み出すことを目的として「かすかべSDGsパートナーズ」を設置しています。

令和6年度に向けましては、エコアクション21の認証取得により事業者である春日部市における環境負荷の低減を図るだけでなく、多くの市民の皆さまや事業者のご理解・ご協力をいただき、未来の春日部市へと繋げる環境活動を推進してまいります。

令和5年10月
春日部市長 岩谷 一弘